

## 令和6年度実施施策に係る政策評価書

### 1. 評価対象施策

食品衛生基準に関する政策の推進

### 2. 担当課室

食品衛生基準審査課

### 3. 評価の実施時期

令和7年8月

### 4. 政策評価の観点

行政事業レビューシートを活用し、必要性・効率性・有効性の観点から事後評価を行った。

### 5. 政策効果の把握の手法及びその結果

#### (1) 施策の目的

最新の科学的知見により、食品等及び洗浄剤の衛生に関する規格又は基準を整備し、食品の安全性を確保する。

#### (2) 点検結果

・食品汚染物質の安全性検証推進事業について、得られたデータは、規制対象物質に対して規格基準を設定するに当たり重要なものであり、コーデックス委員会等の国際会議及び食品衛生基準審議会（以下「審議会」という。）の審議において活用されることが前提となっていることから、適正な内容が得られるよう努めているところである。

このため、実態調査においては毎年一定の実施数を確保できしており、当該調査データに基づき広く一般国民に対し汚染物質の含有濃度が高い食品について、必要に応じて摂食頻度を下げるよう指導する等の活用を図っている。

・農薬等ポジティブリスト制度推進事業については、まず、農薬等試験法の開発については、残留農薬等試験法開発事業評価会議において、委託により開発した試験法の精度等について検証した後、各自治体及び検疫所に情報提供するとともに厚生労働省及び消費者庁ホームページで公開してきた（※）。また、効率的かつ信頼性の高い試験法が示されることは監視指導に有用と考えられ、食品の安全性の確保につながる。

（※）令和6年度、厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管したことに伴い、現在は消費者庁ホームページで通知等を公開している。また、令和6年度以降は、各自治体へは消費者庁から、検疫所へは厚生労働省を通じて情報提供している。

次に、一日摂取量調査については、使用されている農薬等は多数であるため、使用実態等を踏まえ調査を実施しており、毎年調査対象となる農薬等の見直しを行う

ことで必要な農薬等の残留実態を把握することに努めている。令和元年度及び令和2年度は1者応札となったが、履行期間と公告期間をより多く確保し、登録検査機関への声かけを行ったところ令和3年度、令和4年度及び令和5年度は2者応札、令和6年度は3者応札となった。

- ・食品添加物等の安全性確認の計画的推進事業について、本事業の調査結果は、規制対象物質に対し規格基準を設定するための重要なデータであり、コーデックス委員会等の国際会議及び審議会の審議において使用されるものでもあるため、適正な内容となるよう努めている。

- ・食品用器具・容器包装の安全性確認の計画的推進事業については、本事業の調査結果は、既にポジティブリストに記載されている物質の規格改正や、新たに追加する物質の規格について整理を行うために重要なデータであり、審議会の審議において使用されるものでもあるため、適正な内容となるよう努めている。

- ・健康食品の安全性確保等事業については、市場に流通しているいわゆる「健康食品」のうち、安全性が疑われる成分又は物質について、分析調査等を行っている。諸外国の規制・注意喚起等の調査や、含有量確認のための測定方法を開発することにより、健康被害等が発生した際の早急な対応が可能となる。また、令和6年度には、調査結果を踏まえ、錠剤やカプセル剤等の製造管理及び品質管理に関する指針に新たな枠組みを導入したことで、実効性のある安全な商品供給につながっている。さらに、専門家や関係省庁と連携を取りながら健康被害の未然・防止拡大に向けた健康食品の安全性確保に努めている。

- ・食品衛生基準科学研究費補助金（食品衛生基準行政推進調査事業費補助金を含む。）事業について、本事業の研究結果は、食品衛生基準科学研究の振興を促すために重要な事業であり、国民の健康を守るための適正な研究内容となるよう努めている。

- ・研究評価推進事業については、食品衛生基準科学研究の振興を促すために重要な事業であり、食品衛生基準科学研究費補助金等の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるよう努めている。

- ・行政文書電子媒体変換事業については、保存されていた紙媒体資料等の電子化によって食品衛生行政の業務の効率化が図られた。

- ・食品汚染物質の安全性検証推進事業（消費生活復興政策費）については、令和6年度は一日摂取量調査による試料420検体を検査し、各地域の食品に含まれる放射性セシウムから受ける線量が現行の基準値の設定根拠となった線量上限1mSv/年の0.1%程度であることを確認した。

また、食品に含まれる放射性ストロンチウムの濃度は原発事故以前の範囲内、プルトニウムの濃度は検出限界値未満であることを確認した。

調査は福島県及び周辺県とその他の日本の各地域を比較して実施されており、調査結果によってそれらの同等性と安全性が示され食品の安全確保に寄与していることから、被災地の経済活動・市民生活へ直接的な影響を与えるとともに、また、日本全国や海外での食品への信頼を確保する上で極めて有効である。

また、本事業によって得られたデータは、基準値の継続的な検証にも活用できるものである。

### (3) 改善の方向性

適切に予算を執行し、事業の目標を達成できており、このまま継続して事業を実施する。

※ 詳細は各行政事業レビューシート参照

<https://rssystem.go.jp/project?policyIds=1038decd-5e64-422d-a4c3-ecd69b4c2a57>

<https://rssystem.go.jp/project/f1a03186-35bd-4628-ae83-fa051752e4f4>

### 6. 学識経験を有する者の知見の活用

—

### 7. 政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards\\_evaluation](https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation)

<https://rssystem.go.jp/project/f1a03186-35bd-4628-ae83-fa051752e4f4>

### 8. 政策評価の結果

上記のとおり、本施策は必要性・効率性・有効性の観点から、適切な規格基準の設定等、食品衛生基準政策を推進する上で有効な取組であったと評価できる。

## 食品汚染物質の安全性検証推進事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	002362	事業開始年度	2004	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--	主要経費	その他の事項経費			
概要・目的	事業の目的	食品中の汚染物質（重金属、かび毒等）における精密なばく露状況を把握し、個人によって摂取頻度が異なることに着目した安全性を検証し、今後のリスク低減のための方策（摂食指導並びに基準値の設定及び見直し）を講じる際の基礎データを得ることにより食品の安全性を確保する。				
	現状・課題	食品中の汚染物質の規格基準の設定に当たっては、コーデックス委員会（食品の国際規格を策定しているFAOとWHOの合同機関）が策定している食品について、我が国でも規格基準の設定を検討することとし、原則、コーデックス規格を採用することとしている。具体的には我が国の規格基準を設定する際には、国内に流通する食品中の汚染物質の汚染実態及び国民の食品摂取量等を踏まえた消費者の健康リスクに基づくとともに、合理的に達成可能な範囲で、できる限り低くするとの考え方を基に検討する必要がある。				
	事業の概要	個人によって摂取頻度が異なる食品について、一定期間内の摂取実態調査を実施し、精密な汚染物質のばく露量を推定する。また、食品中の汚染物質（重金属、かび毒等）は通常的环境中に広く存在していることから、広範囲にわたる食品について、汚染物質の含有濃度実態調査を実施する。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第十三条	--	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	--	--				
実施方法	直接実施					

補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

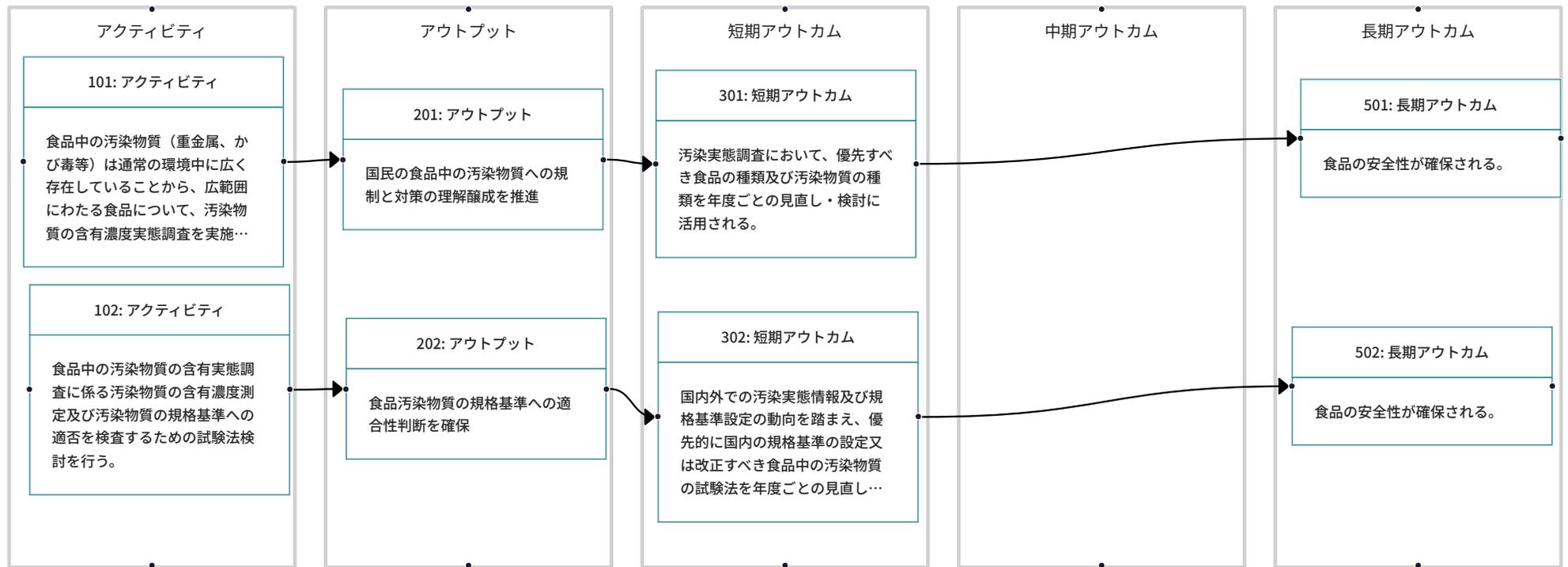
予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	55,000	36,000	77,000	67,336	87,336
	当初予算	36,000	76,000	67,125	67,336	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	36,000	76,000	67,125	67,336	--
	執行額	63,000	70,315	65,197	--	--
	執行率	175%	92.5%	97.1%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	20,000	--		
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品等試験検査費			--	66,118	86,099
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 職員旅費			--	576	554
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 庁費			--	328	331
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 委員等旅費			--	192	184
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 諸謝金			--	122	168

主な増減理由	食品中に非意図的に含まれる物質について、国際規格の検討状況も踏まえて分析方法の開発を行うため。	その他特記事項	--
--------	---	---------	----

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	食品中の汚染物質（重金属、かび毒等）は通常的环境中に広く存在していることから、広範囲にわたる食品について、汚染物質の含有濃度実態調査を実施し、その結果から、国民の汚染物質へのばく露量を推計し、適宜規格基準の設定等に活用する。				
アウトプット	活動目標	国民の食品中の汚染物質への規制と対策の理解醸成を推進	活動指標	食品汚染物質の実態調査（対象物質数）	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	・食品中の汚染物質に関する調査実施要領 ・調査実施報告書	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(物質)	6	3	6	2
	活動実績／成果実績(物質)	6	4	6	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国内に流通する食品中の汚染物質の含有濃度及び規格基準への適合性を判断するために開発した試験法を自治体、検疫所及び民間の検査機関に周知し、国内に流通する食品が適切な試験方法により検査されて流通できる体制となり、国民の食品への安全・安心を確保することができる。				
短期アウトカム	成果目標	汚染実態調査において、優先すべき食品の種類及び汚染物質の種類を年度ごとの見直し・検討に活用される。	成果指標	実施した汚染実態調査結果等が、食品衛生基準審議会等において、規格基準設定に係る審議等に活用されること。	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	これまでに実施した汚染実態調査結果を踏まえ、2024年度の食品衛生基準審議会等において、基準値設定に係る審議資料に活用した。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	アクティビティである汚染物質の含有濃度実態調査の結果から国民の汚染物質へのばく露量を推計し、適宜規格基準の設定等に活用することがより効果的な制度見直しにどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	国内に流通する食品中の汚染物質の含有濃度及び規格基準への適合性を判断するために開発した試験法を自治体、検疫所及び民間の検査機関に周知し、国内に流通する食品が適切な試験方法により検査されて流通できる体制となり、国民の食品への安全・安心を確保することができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	科学的根拠を踏まえた規格基準の設定により、食品の安全ひいては安全な食糧安定供給に寄与する。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

アクティビティからの発現経路 102-202-302-502

アクティビティ	食品中の汚染物質の含有実態調査に係る汚染物質の含有濃度測定及び汚染物質の規格基準への適否を検査するための試験法検討を行う。				
アウトプット	活動目標	食品汚染物質の規格基準への適合性判断を確保	活動指標	食品汚染物質の試験法検討（対象物質数）	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	・食品中の汚染物質の含有実態調査に係る試験検査の実施要領 ・試験検査実施報告書	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(物質)	0	1	1	3
	活動実績／成果実績(物質)	0	2	3	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国内に流通する食品中の汚染物質の含有濃度及び規格基準への適合性を判断するために開発した試験法を自治体、検疫所及び民間の検査機関に周知し、国内に流通する食品が適切な試験方法により検査されて流通できる体制となり、国民の食品への安全・安心を確保することができる。				
短期アウトカム	成果目標	国内外での汚染実態情報及び規格基準設定の動向を踏まえ、優先的に国内の規格基準の設定又は改正すべき食品中の汚染物質の試験法を年度ごとの見直し・検討に活用される。	成果指標	実施した試験法検討の結果に基づき、食品中の汚染物質の規格基準への適合性判断等に係る食品衛生基準審議会等での審議に活用されること。	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	これまでに実施した食品中の汚染物質の規格基準への適合性判断を確保するための試験法検討結果を踏まえ、食品衛生基準審議会等の審議資料として活用した。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	試験法の検討が、より効果的な制度見直しにどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	国内に流通する食品中の汚染物質の含有濃度及び規格基準への適合性を判断するために開発した試験法を自治体、検疫所及び民間の検査機関に周知し、国内に流通する食品が適切な試験方法により検査されて流通できる体制となり、国民の食品への安全・安心を確保することができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	科学的観点のみならず、分析法の技術等の実用可能性も裏付けとした適合性判断により、規格基準設定後の食品の安全ひいては分析事業者の負担軽減に寄与する。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>本事業によって得られたデータは、規制対象物質に対して規格基準を設定するに当たり重要なものであり、コーデックス委員会等の国際会議及び食品衛生基準審議会等の審議において活用されることが前提となっていることから、適正な内容が得られるよう努めているところである。</p> <p>このため、実態調査においては毎年一定の実施数を確保できており、当該調査データに基づき広く一般国民に対し汚染物質の含有濃度が高い食品について、必要に応じて摂食頻度を下げるよう指導する等の活用を図っている。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	<p>適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。また、引き続き、実態調査における一定の実施数を確保し、精度の高い調査結果が得られるよう検証する。</p>		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2017
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	引き続き適正な内容が得られるよう事業内容を検証し、予算の効果的・効率的な執行に努めること。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	引き続き事業内容を検証し、予算の効果的・効率的な執行に努めることとする。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

消費者庁

65,197 千円

間接経費: 49 千円

1. 職員旅費: 49 千円

A. 国立医薬品食品衛生研究所

65,148 千円

支出先の数: 42

食品等規格基準に関する試験検査等

支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 国立医薬品食品衛生研究所	65,148	42	食品等規格基準に関する試験検査等	
	支出先名	支出額	法人番号		
	丸紅新電力株式会社	9,844	9010001137740		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	電気使用料 一般競争契約（最低価格）	9,844	1	76.1	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社池田理化	7,085	3010001010696		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	濃縮装置一式 一般競争契約（総合評価）	2,497	2	78.3	--
D Z T MSプレップ（50）P73B 3点 外9点 随意契約（少額）	979	1	--	--	
オクラキング 25本 堀場 300-830091 6点 外9点 随意契約（少額）	766	1	--	--	
ウルトラロングチップ 50-1000ul 1000本～ 4点 外7点ほか 随意契約（少額）	2,843	1	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
一般財団法人日本食品検査	4,799	7010405001908			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
畜水産食品中のPFOS、PFOA、PFHxS、およびPFNAの分析業務 一般競争契約（最低価格）	4,799	2	85.5	--	
支出先名	支出額	法人番号			
個人A	4,772	9999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	給与・賞与 その他(事業に係る職員給与・賞与)	4,772	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
日本空調サービス株式会社		3,000	6180001002699		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
高度管理区域空調設備保守点検等業務 一式 一般競争契約(最低価格)		3,000	2	98.3	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社バイオテック・ラボ		2,776	5010601020795		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
純水超純水製造装置 一式 随意契約(少額)		1,356	1	--	--
ロータリーエボレーター N-1300V-WS29 一式 随意契約(少額)		804	1	--	--
シーケンスデータ保存用NAS HDD交換費用 1式 随意契約(少額)		268	1	--	--
Adobe AcrobatPro 2020~ 2点ほか 随意契約(少額)		347	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
個人B		2,744	9999999999999		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
給与 その他(事業に係る職員給与)		2,744	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
一般財団法人日本穀物検定協会		2,572	3010005018629		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
オクラトキシンAの分析法の妥当性確認~試料作製と参画機関 への送付 一式 一般競争契約(最低価格)		2,572	1	97.1	--

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	支出先名		支出額	法人番号			
		株式会社チヨダサイエンス		2,544	7010001023050		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		誘導結合プラズマ質量分析計修理 一式 一般競争契約（最低価格）		2,544	2	97.6	--
		支出先名		支出額	法人番号		
		尾崎理化株式会社ほか		25,011	--		
		契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	その他 その他(--)		25,011	--	--	--	
費目・用途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途		金額	
A	丸紅新電力株式会社	電気使用料	役務費	電気使用料		9,844	
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号			
	--		--	--			

その他備考

--

## 農薬等ポジティブリスト制度推進事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	002359	事業開始年度	2006	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--		主要経費	科学技術振興費   その他の事項経費		
概要・目的	事業の目的	食品中に残留する農薬等（農薬、動物用医薬品及び飼料添加物）については、2006年度から施行されたポジティブリスト制度（残留基準が設定されていない農薬等が一定量を超えて残留する食品の流通を原則禁止する制度）を円滑に運用し、全国において効率的な監視を行うための試験法を開発することにより、食品の安全性を確保する。				
	現状・課題	食品中に残留する農薬等が人の健康に害を及ぼすことのないよう、食品中に残留する農薬等については2006年度からポジティブリスト制度を導入し、原則、全ての農薬等について、残留基準値を設定している。当該制度の下、食品の安全確保に向けては、国内流通食品については都道府県が、輸入食品については検疫所が監視を行っている。近年の食のニーズの多様化や輸入食品の増加による対象食品の拡大や国際的な残留基準設定の動向等を踏まえつつ、科学的な根拠を基に、残留基準の設定・見直しを進めるとともに、現場の監視において、これら残留基準の適否を判断する試験法の設定を行っていく必要がある。				
	事業の概要	ポジティブリスト制度に基づき、国際的な基準や科学的な根拠を踏まえて食品中の農薬等の残留基準を設定し、効率的な監視を行うことができるよう試験法の開発・改良を行うとともに、食品を介した農薬一日摂取量実態調査（平均的な食事による国民1人当たりの農薬の摂取量を調査）等の結果を踏まえ、適宜基準値の見直しを行う。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号		第十三条	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	平成17年厚生労働省告示第497～499号、「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」（平成17年1月24日食安発第0124001号）	<a href="https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/pesticide_residues/test_method">https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/pesticide_residues/test_method</a>				

実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	修正日：8月19日 修正内容：2025年度概算要求額の修正（496,670千円⇒548,199千円） 修正理由：計上すべき予算が計上されていなかったため。			

予算・執行

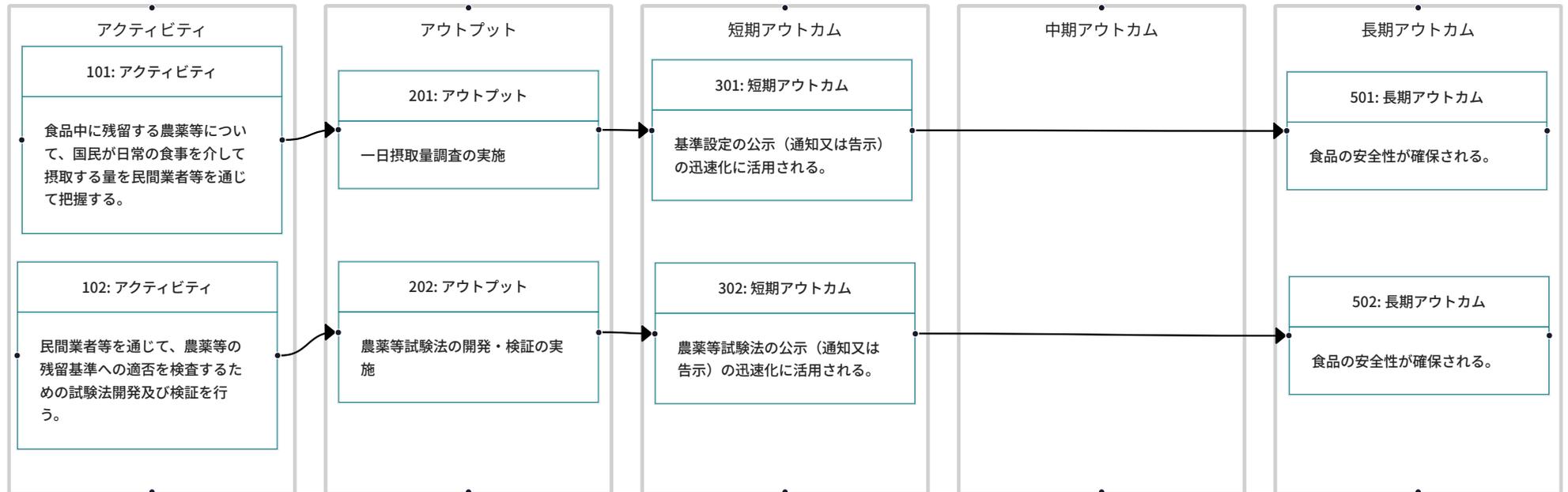
予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	603,000	546,200	583,000	496,670	506,731
	当初予算	550,000	503,000	510,909	518,690	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	550,000	503,000	510,909	518,690	--
	執行額	485,000	443,934	409,183	--	--
	執行率	88.2%	88.3%	80.1%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	40,020	--		
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 内閣府 / 消費者庁 / 消費者庁共通費 / 委員手当			--	3,588	4,246
		当初予算 食品衛生基準政策費 食品衛生基準調査研究費			--	345,871	325,871
		当初予算 食品衛生基準政策費 食品等試験検査費			--	123,879	125,967
		当初予算 食品衛生基準政策費 食品衛生基準調査委託費			--	20,500	20,500
		当初予算 食品衛生基準政策費 職員旅費			--	13,843	18,608
		当初予算 食品衛生基準政策費 委員等旅費			--	6,160	6,258
		当初予算 食品衛生基準政策費 諸謝金			--	865	2,700
	当初予算 食品衛生基準政策費 庁費			--	3,984	2,581	

主な増減理由	システム構築のためデジタル庁一括計上予算に移し替え等を行ったため	その他特記事項	--
--------	----------------------------------	---------	----

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	食品中に残留する農薬等について、国民が日常の食事を介して摂取する量を民間業者等を通じて把握する。					
アウトプット	活動目標	一日摂取量調査の実施		活動指標	食品中に残留する農薬等の一日摂取量調査結果	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	248	248	248	248	248
	活動実績／成果実績(件)	384	384	376	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	食品中の農薬等の残留基準の設定に当たっては、残留基準の案について食品を通じた農薬等の摂取量を推定し、健康に悪影響を及ぼさないことを確認した上で設定している。一日摂取量調査の結果を用いて、農薬等の摂取量の推定をしており、調査の適切な実施により、農薬等の残留基準の設定に係る公示（通知又は告示）の迅速化につながる。					
短期アウトカム	成果目標	基準設定の公示（通知又は告示）の迅速化に活用される。		成果指標	基準設定の公示（通知又は告示）の件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	基準設定の公示（通知又は告示）件数の集計リスト	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	目標年度 2024年度	目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(件)	60	60	60	60	
	活動実績／成果実績(件)	63	65	37	--	
	達成率(%)	105	108	61.7	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	基準設定の公示を迅速化することによって、自治体等における流通食品の農薬等の残留基準への適合確認の適切な実施が可能となり、その結果、農薬を原因とする健康被害の防止につながる食品の安全性を確保することができる。					

長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止
	定性的なアウトカムに関する成果実績	一日摂取量調査を実施し、その成果に基づき基準設定の公示を迅速化することは、自治体等における流通食品の農薬等の残留基準への適合確認の適切な実施につながり、その結果、農薬を原因とする健康被害の防止につながる。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	食品に関する健康被害は、原因究明までが困難な場合が多く、このアクティビティの直接の因果関係を明らかにすることができず、数値によって測ることができないことから、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

アクティビティからの発現経路 102-202-302-502

アクティビティ	民間業者等を通じて、農薬等の残留基準への適否を検査するための試験法開発及び検証を行う。					
アウトプット	活動目標	農薬等試験法の開発・検証の実施		活動指標	農薬等試験法の開発・検証数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
	当初見込み／目標値(件)	20	20	20	20	20
	活動実績／成果実績(件)	36	27	24	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	輸入食品や国内に流通する食品の安全性確保のための現場の監視に資するため、公定法として、農薬等試験法の公示（通知又は告示）を行っているところ。農薬等試験法の公示に当たっては、民間業者等において開発・検証された試験法を基に、公定法を設定していることから、成果目標として農薬等試験法の公示（通知又は告示）の迅速化を設定した。					
短期アウトカム	成果目標	農薬等試験法の公示（通知又は告示）の迅速化に活用される。		成果指標	農薬等試験法の公示（通知又は告示）件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	農薬等試験法の公示（通知又は告示）件数の集計リスト（※2024年度には、8件分の通知案を作成し、2025年4月に通知した。）	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	目標年度 2024年度	目標年度 2025年度	
	当初見込み／目標値(件)	15	15	15	15	
	活動実績／成果実績(件)	15	8	0	--	
	達成率(%)	100	53.3	0	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	農薬等試験法の開発・検証を実施することによって、自治体等における流通食品の農薬等の残留基準への適合確認の適切な実施が可能となり、その結果、農薬を原因とする健康被害の防止につながり、食品の安全性を確保することができる。					

長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止
	定性的なアウトカムに関する成果実績	農薬等試験法の開発・検証を実施し、その成果に基づき農薬等試験法の公示を迅速化することは、自治体等における流通食品の農薬等の残留基準への適合確認の適切な実施につながり、その結果、農薬を原因とする食中毒発生の防止につながると考えられる。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	食中毒の報告事例は、原因究明までが困難な場合が多く、このアクティビティの直接の因果関係を明らかにすることができないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--		
	URL	--		
	該当箇所	--		

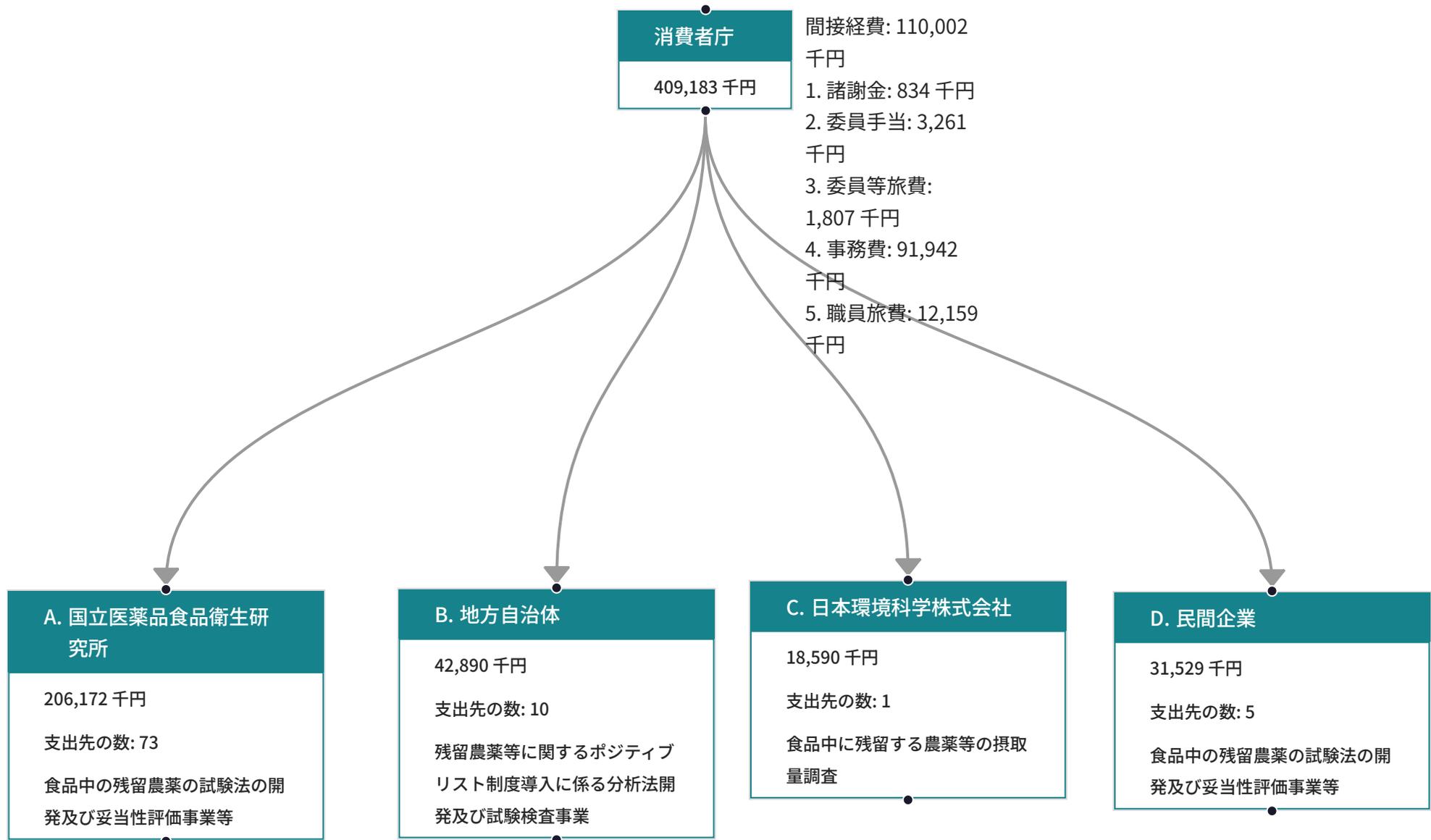
点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>○農薬等試験法の開発については、残留農薬等試験法開発事業評価会議において、委託により開発した試験法の精度等について検証した後、各自治体及び検疫所に情報提供するとともに厚生労働省及び消費者庁ホームページで公開してきた（※）。また、効率的かつ信頼性の高い試験法が示されることは監視指導に有用と考えられ、食品の安全性の確保につながる。</p> <p>（※）2024年度、厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管したことに伴い、現在は消費者庁ホームページで通知等を公開している。また、2024年度以降は、各自治体へは消費者庁から、検疫所へは厚生労働省を通じて情報提供している。</p> <p>○一日摂取量調査については、使用されている農薬等は多数であるため、使用実態等を踏まえ調査を実施しており、毎年調査対象となる農薬等の見直しを行うことで必要な農薬等の残留実態を把握することに努めている。</p> <p>2019年度及び2020年度は1者応札となったが、履行期間と公告期間をより多く確保し、登録検査機関への声かけを行ったところ2021年度、2022年度及び2023年度は2者応札、2024年度は3者応札となった。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	2024年度については、厚生労働省から消費者庁へ食品衛生基準行政を移管したことに伴い、消費者庁において適切に予算を執行し、目標達成に向けて事業を実施できている。		
	改善の方向性	<p>適切に予算を執行し、目標達成に向けて事業を実施できているため、このまま継続して事業を実施する。</p> <p>○2012年度から分析法の専門家による残留農薬等試験法開発事業評価会議（年3回程度）を実施しており、試験法の効率的な検討がなされている。引き続き評価会議を定期的に開催する。</p> <p>○試験法開発の統一を図るために試験法開発実施要領の見直しを行い、サンプル量や抽出溶媒の選択方法を具体化し、より効率的な試験法の開発を行うことが可能となった。今後とも効率的な試験法の開発ができるよう環境整備に努める。</p> <p>○一日摂取量調査は履行期間及び公告期間等をより多く確保しつつ、他の登録検査機関にもさらに積極的に声かけを行うことで2者以上の応札が維持できるよう努める。</p>		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	引き続き、必要性・効率性・有効性を検討し、適切な予算執行を図っていただきたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	引き続き必要性・効率性・有効性を検討し、適切な予算執行に努めることとする。			

公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--
その他の指摘事 項	--

# 支出先

## 資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 国立医薬品食品衛生研究所	206,172	73	食品中の残留農薬の試験法の開発及び妥当性評価事業等	
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社バイオテック・ラボ	27,491	5010601020795		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	バイオイナート超高速液体クロマトグラフ 一式 一般競争契約（最低価格）	9,900	3	99.4	--
	液体クロマトグラフ 一式 一般競争契約（最低価格）	1,500	3	94.1	--
	キャビネットガラス引戸型 W900×D450×H1050 mm 6点 外4点 随意契約（少額）	995	1	--	--
	オフィスチェア 肘なし 2点 外3点ほか その他(--)	15,096	--	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
丸紅新電力株式会社	24,086	9010001137740			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
電気使用料 一般競争契約（最低価格）	24,086	1	76.1	--	
支出先名	支出額	法人番号			
パーソルテンプスタッフ株式会社	14,180	1011001015010			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
試験研究業務等のための人材派遣業務 一般競争契約（最低価格）	14,180	5	84.8	--	
支出先名	支出額	法人番号			
尾崎理化株式会社	8,851	2021001016122			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
スパルチオイジン 天然物化学研究用 5mg 1点 外1点 随意契約 (少額)		998	1	--	--
セトキシジム6-OH-M2-SO2 100mg 1点 随意契約 (少額)		636	1	--	--
エキナチン硫酸塩 天然物化学研究用 5mg 1点 外3点 随意契約 (少額)		633	1	--	--
シフルトリンヒョウジュンヒン~ 200MG 1点 外7点 ほか その他(--)		6,585	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
WDB株式会社		7,777	4010001143256		
契約概要 (契約名) / 契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
試験研究業務等のための人材派遣業務 一般競争契約 (最低価格)		7,777	5	85.8	--
支出先名		支出額	法人番号		
新東産業株式会社		6,431	1010401013301		
契約概要 (契約名) / 契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
総合庁舎管理業務 一式 一般競争契約 (最低価格)		6,000	2	90.5	--
3F F-4室 3Φ200Vコンセント1回路増設工事 随意契約 (少額)		146	1	--	--
3F F-8室 1Φ200Vコンセント1回路配線工事 随意契約 (少額)		129	1	--	--
3F E-1室 100Vコンセント1回路増設工事ほか その他(--)		156	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
島津サイエンス株式会社		5,871	7010501032617		
契約概要 (契約名) / 契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策 / 落札率非公開の理由
LCMS-8060NX 真空系メンテナンス作業 1式 随意契約 (少額)		956	1	--	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	ガスクロマトグラフ質量分析計 一式 一般競争契約（最低価格）	876	3	86	--
	SCIEX7500フロント LC-40B整備付き点検 1 式 随意契約（少額）	778	1	--	--
	SplitFlow310 O/H（PMP04291C） 1点ほか その他(--)	3,261	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社ワールドインテック		5,760	4290801020346		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
試験研究業務等のための人材派遣業務 一般競争契約（最低価格）		5,760	5	99.3	--
支出先名		支出額	法人番号		
岩井化学薬品株式会社		5,226	8010001036745		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
電気絶縁用ビニールテープ 幅19mm 10m（ピンク） 2 点 外21点 随意契約（少額）		995	1	--	--
SU BSTFA-TMCS（99：1） 5点 外31点 随意契約（少額）		682	1	--	--
Ethylenoxide/2-Chloroethanol ～ 3点 外1点 随意契約（少額）		462	1	--	--
DB-HeavyWAX 30m 1点 外10点ほか その他(--)		3,087	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
個人Aほか		100,499	--		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
給与・賞与ほか その他(--)		100,499	--	--	--

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
B 地方自治体	42,890	10	残留農薬等に関するポジティブリスト制度導入に係る分析法開発及び試験検査事業		
支出先名	支出額	法人番号			
名古屋市	5,000	3000020231002			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)	5,000	--	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
岩手県	5,000	4000020030007			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)	5,000	--	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
山形県	4,999	5000020060003			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
山形県 その他(支出委任)	4,999	--	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
愛知県	4,794	1000020230006			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)	4,794	--	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
福島県		4,500	7000020070009		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)		4,500	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
福岡県		4,102	6000020400009		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)		4,102	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
東京都		3,665	8000020130001		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)		3,665	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
埼玉県		3,630	1000020110001		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)		3,630	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
神奈川県		3,600	1000020140007		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)	3,600	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
北海道		3,600	7000020010006		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務 その他(支出委任)		3,600	--	--	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
C	日本環境科学株式会社	18,590	1	食品中に残留する農薬等の摂取量調査	
支出先名		支出額	法人番号		
日本環境科学株式会社		18,590	4390001001525		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品中に残留する農薬等の摂取量調査 一般競争契約（最低価格）		18,590	3	74.9	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
D	民間企業	31,529	5	食品中の残留農薬の試験法の開発及び妥当性評価事業等	
支出先名		支出額	法人番号		
一般財団法人日本食品分析センター		20,130	3011005000295		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質（パラコート）の高感度試験法開発検討一式 一般競争契約（総合評価）		6,270	2	75.5	--
食品に残留する農薬等の成分である物質（エリスロマイシン）の高感度試験法開発検討一式 一般競争契約（総合評価）		6,160	3	82.6	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	食品に残留する農薬等の成分である物質（ジクロロイソシアヌル酸）の高感度試験法開発検討一式 一般競争契約（総合評価）	5,720	2	65.4	--
	食品に残留する農薬等の成分である物質（メトクロプラミド試験法（畜産物））の試験法検証事業ほか 随意契約（少額）	1,980	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
ユーロフィンQKEN株式会社		6,545	6290001022802		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法の開発・検証に関する試験【LC/MSによる農薬等の一斉試験法Ⅲ（畜水産物）】妥当性評価試験 一般競争契約（最低価格）		3,806	2	59.5	--
食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法の開発・検証に関する試験【LC/MSによる動物用医薬品等の一斉試験法Ⅰ（畜水産物）】妥当性評価試験 一般競争契約（最低価格）		2,739	3	46.3	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社グローバス		3,681	4080001001300		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
「令和6年度食品安全分野 外国政府職員招へい交流プログラム」の開催に係る運営等業務一式 一般競争契約（最低価格）		3,681	2	76.6	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社三菱総合研究所		846	6010001030403		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
農薬等の残留基準値に係る情報提供等の検討に関する業務一式 随意契約（少額）		846	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社メディア総合研究所		327	4011001041557		

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		食品安全関係法令の英訳 随意契約（少額）	327	1	--	--
費目・用途 （単位：千円）	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途	金額	
	A 株式会社バイオテック・ラボ	バイオイナート超高速液体クロマトグラフ一式	役務費	食品中の残留農薬の試験法の開発及び妥当性評価事業等	9,900	
	B 名古屋市	食品に残留する農薬等の成分である物質の試験法開発・検証業務	役務費	食品中の残留農薬の試験法の開発及び妥当性評価事業等	5,000	
	C 日本環境科学株式会社	食品中に残留する農薬等の摂取量調査	委託費	食品中の残留農薬の試験法の開発及び妥当性評価事業等	18,590	
	D 一般財団法人日本食品分析センター	食品に残留する農薬等の成分である物質（パラコート）の高感度試験法開発検討一式	役務費	食品中の残留農薬の試験法の開発及び妥当性評価事業等	6,270	
国庫債務負担行為等による契約 先リスト （単位：千円）	契約先名	契約額	法人番号			
	--	--	--			

その他備考

--

## 食品添加物等の安全性確認の計画的推進事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	002360	事業開始年度	2008	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--		主要経費	その他の事項経費		
概要・目的	事業の目的	最新の科学的知見により、食品添加物の規格基準を整備し、食品の安全性を確保する。				
	現状・課題	食品添加物は毎年、新規指定及び規格改正を事業者から要請されており、それに関する成分規格案の精査等の実施が必要である。また、使用基準等を改正した妥当性についても検証の必要があることや、過去に指定された既存添加物等の安全性についても現在の知見に照らし、再度検証する必要がある。				
	事業の概要	食品添加物について、成分規格分析、実際の食品からの摂取量の調査、毒性試験等を実施する。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号		第十二条	--	--
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号		第十三条	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	--	--				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等		補助率URL	
	--	--	--		--	

備考

--

予算・執行

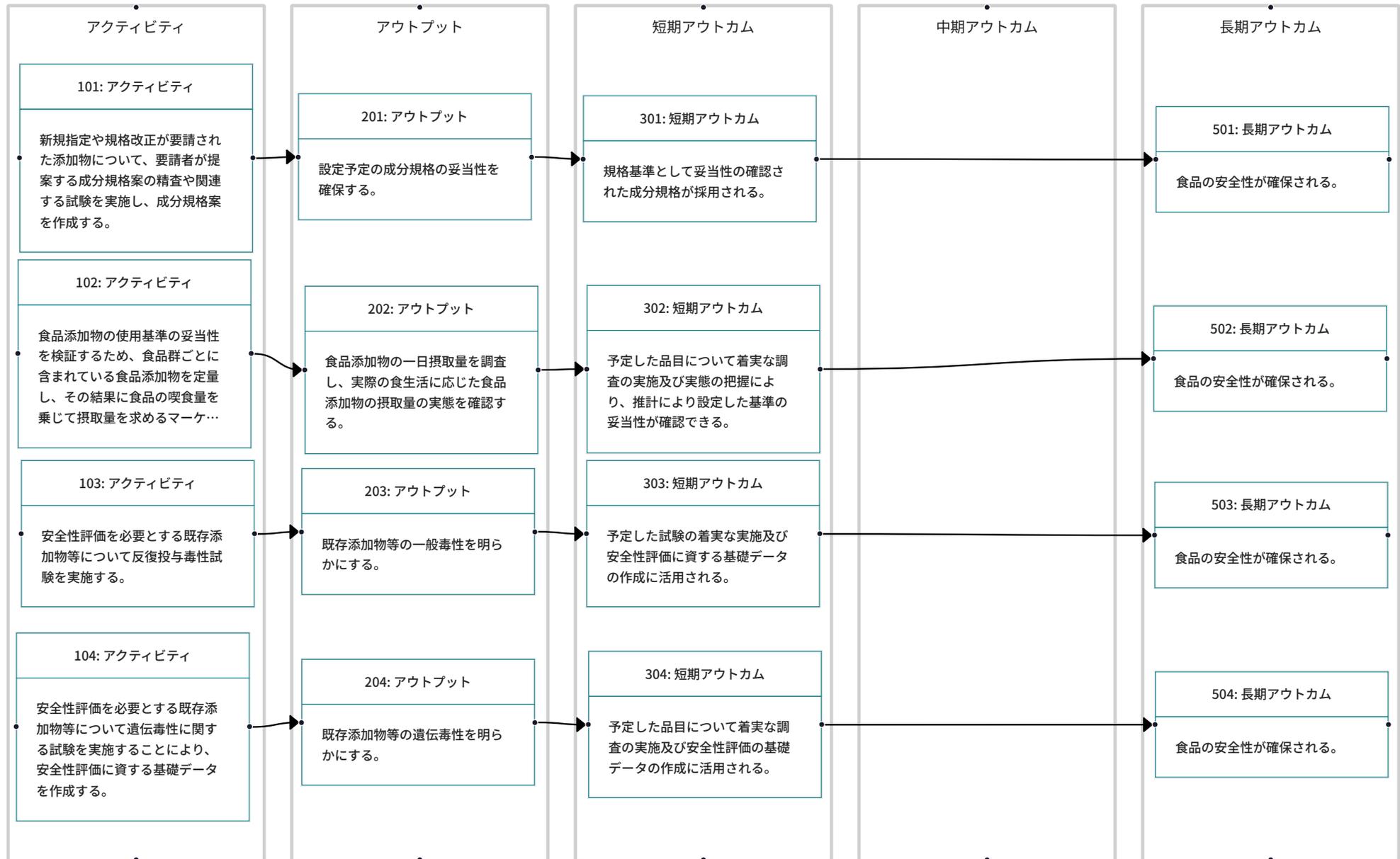
予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026
	要求額		436,000	322,900	453,000	332,368	419,436
	当初予算		303,000	275,000	269,436	269,436	--
	補正予算		--	--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--	--
	予備費等		--	--	--	--	--
	計		303,000	275,000	269,436	269,436	--
	執行額		260,000	248,641	224,157	--	--
	執行率		85.8%	90.4%	83.2%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	150,000	--		
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品等試験検査費			--	264,469	412,240
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 職員旅費			--	1,966	2,898
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 庁費			--	1,577	1,801
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 委員等旅費			--	987	1,676
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 諸謝金			--	437	821
	主な増減理由	食品添加物の更なる安全性確保に向けた諸外国等の制度調査の実施や安全性評価のために必要なデータ等の収集のため。			その他特記事項	--	

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	新規指定や規格改正が要請された添加物について、要請者が提案する成分規格案の精査や関連する試験を実施し、成分規格案を作成する。				
アウトプット	活動目標	設定予定の成分規格の妥当性を確保する。	活動指標	新規添加物の成分規格分析・検査の実施数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	5	5	5	5
	活動実績／成果実績(件)	5	5	4	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国内で使用可能な添加物の指定に当たり、妥当性の確認された成分規格を迅速に設定することで、国内に流通する食品において使用される食品添加物の品質を確保することができる。				
短期アウトカム	成果目標	規格基準として妥当性の確認された成分規格が採用される。	成果指標	新規規格案の迅速な精査	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	策定された成分規格案を使用して、2022年度に2品目、2023年度に2品目、2024年度に0品目について成分規格の設定及び改正がなされた。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	食品添加物の指定等は、指定等要請者（事業者）からの指定等要請に基づき指定等を行う制度となっていることから、定量的な成果目標として設定することは不可能である。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	妥当性の確認された食品添加物の成分規格を設定することにより、健康被害の防止につながり、食品の安全・安心を確保することができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	食品を摂取することに起因する国民の健康の保護	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

アクティビティからの発現経路 102-202-302-502

アクティビティ	食品添加物の使用基準の妥当性を検証するため、食品群ごとに含まれている食品添加物を定量し、その結果に食品の喫食量を乗じて摂取量を求めるマーケットバスケット方式による一日摂取量調査を実施する。				
アウトプット	活動目標	食品添加物の一日摂取量を調査し、実際の食生活に応じた食品添加物の摂取量の実態を確認する。	活動指標	一日摂取量調査を行った食品添加物数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	2022年度に10件の予定に対して保存料3件、着色料2件、甘味料3件、製造用剤1件及び結着剤1件、2023年度に11件の予定に対して保存料4件、着色料3件、甘味料3件、結着剤1件及び発色剤1件、2024年度に11件の予定に対して甘味料8件の調査を実施した。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	10	11	11	11
	活動実績／成果実績(件)	10	12	8	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	一日摂取量調査により実際の食生活に応じた食品添加物の摂取量の実態を確認することで、推計により設定した基準の妥当性が確認できる。				
短期アウトカム	成果目標	予定した品目について着実な調査の実施及び実態の把握により、推計により設定した基準の妥当性が確認できる。	成果指標	予定した品目について着実な調査の実施及び実態の把握	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	調査の実施により、実態を把握し基礎データの作成を実施した。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	現行基準の妥当性を検証するための活動であり、対象とする品目数が多いことが望ましいというのではなく、定量的な評価になじまない。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	設定した基準の妥当性が確認されることにより、食品添加物が使用された食品の安全・安心を確保することができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	食品を摂取することに起因する国民の健康の保護	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

アクティビティからの発現経路 103-203-303-503

アクティビティ	安全性評価を必要とする既存添加物等について反復投与毒性試験を実施する。				
アウトプット	活動目標	既存添加物等の一般毒性を明らかにする。	活動指標	既存添加物等の反復投与毒性試験の実施数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	2022年度は5件の予定に対して4件、2023年度は5件の予定に対して2件、2024年度は5件の予定に対して2件実施した。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	5	5	5	5
	活動実績／成果実績(件)	4	2	2	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	指定添加物及び既存添加物の一般毒性試験を実施することにより、安全性評価に資する基礎データが得られる。				
短期アウトカム	成果目標	予定した試験の着実な実施及び安全性評価に資する基礎データの作成に活用される。	成果指標	予定した試験の着実な実施及び安全性評価に資する基礎データの作成	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	試験の着実な実施により安全性評価に資する基礎データを作成した。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	現に使用され得る添加物について安全性の確認に資する情報を得るための活動であり、実施数が多いことが望ましいというものではなく、定量的な評価になじまない。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	毒性の懸念がある食品添加物の使用を防ぐことにより、食品の安全性を確保することができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	食品を摂取することに起因する国民の健康の保護	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

アクティビティからの発現経路 104-204-304-504

アクティビティ	安全性評価を必要とする既存添加物等について遺伝毒性に関する試験を実施することにより、安全性評価に資する基礎データを作成する。				
アウトプット	活動目標	既存添加物等の遺伝毒性を明らかにする。	活動指標	既存添加物等の遺伝毒性試験の実施数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	2022年度は2件の予定に対して2件、2023年度は2件の予定に対して3件、2024年度は2件の予定に対して1件実施した。 ※2022年度の活動実績/成果実績については、遺伝毒性に含まれない試験が1件含まれていたため、今年度報告より2件に修正	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	2	2	2	2
	活動実績／成果実績(件)	2	3	1	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	安全性の評価が必要な既存添加物等について、変異毒性試験を実施することにより、その安全性評価に資する基礎データが得られる。				
短期アウトカム	成果目標	予定した品目について着実な調査の実施及び安全性評価の基礎データの作成に活用される。	成果指標	予定した品目について着実に調査を実施及び安全性評価の基礎データの作成	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	調査の着実な実施により安全性評価に資する基礎データを作成した。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	現に使用され得る添加物について安全性の確認に資する情報を得るための活動であり、実施数が多いことが望ましいというものではなく、定量的な評価になじまない。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	変異毒性の懸念を確認することにより、食品の安全・安心を確保することができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	食品を摂取することに起因する国民の健康の保護	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

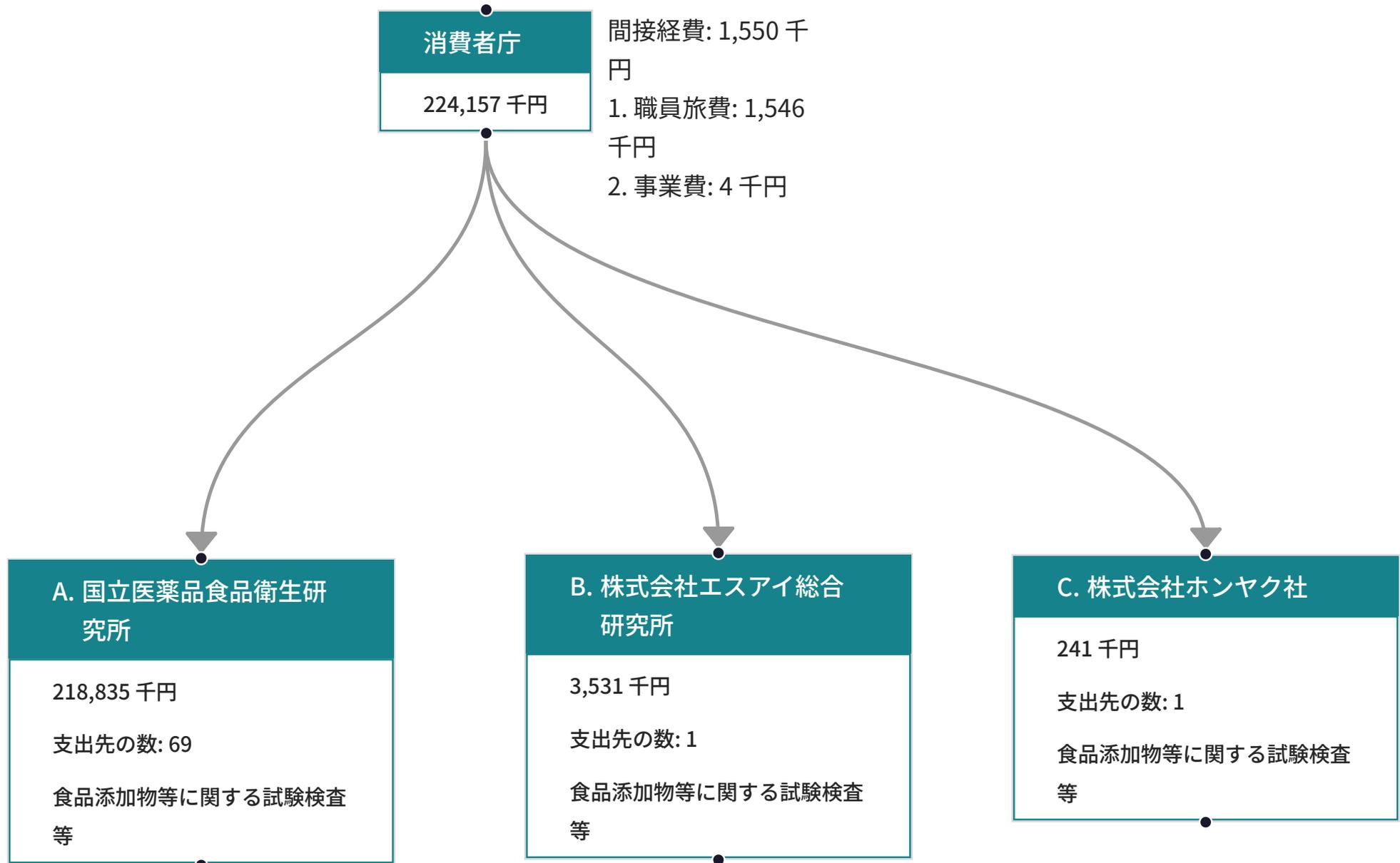
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--
	URL	--
	該当箇所	--

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業の調査結果は、規制対象物質に対し規格基準を設定するための重要なデータであり、コーデックス委員会等の国際会議及び食品衛生基準審議会の審議において使用されるものでもあるため、適正な内容となるよう努めている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	本事業は、適切に予算を執行し、事業の目標を達成できている。 今後においても、食の安全確保のために必要不可欠な事業のため、引き続き一般競争入札によるコスト削減を図り、効率的かつ適正な執行に努めていく。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2016
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	引き続き、事業に必要な予算額を確保し、効果的かつ効率的な事業の実施に資するよう、適正な執行に努めていただきたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	引き続き必要な予算を確保し、予算の効果的・効率的な執行に努めることとする。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先

資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 国立医薬品食品衛生研究所	218,835	69	食品添加物等に関する試験検査等	
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社バイオテック・ラボ	39,157	5010601020795		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	超高速液体クロマトグラフー四重極型タンデム質量分析計 一式 一般競争契約（最低価格）	19,000	3	96.7	--
	ベンチトップマイクロスコープ アップグレード作業 一式 一般競争契約（最低価格）	9,999	3	96.8	--
	蛍光セルイメージャー 一式 随意契約（少額）	1,408	1	--	--
	光シート顕微鏡光源 一式ほか その他(--)	8,750	--	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
株式会社池田理化	21,906	3010001010696			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
多検体生細胞リアルタイムルミノメータ 一式 一般競争契約（最低価格）	9,284	2	95	--	
超高純度水素ガス発生装置 2台 一般競争契約（最低価格）	3,326	2	95.7	--	
ラボ用オートクレーブ LPS-500 1点 随意契約（少額）	776	1	--	--	
SMRTbell adaptor index plate 1点 外7点ほか その他(--)	8,520	--	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
丸紅新電力株式会社	20,788	9010001137740			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	電気使用料 一般競争契約（最低価格）	20,788	1	76.1	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社ボゾリサーチセンター		12,386	7011001043906		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
ステビア末に関するラットを用いた反復経口投与試験 一式 一般競争契約（最低価格）		12,386	2	69.8	--
支出先名		支出額	法人番号		
新東産業株式会社		12,088	1010401013301		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
総合庁舎管理業務 一式 一般競争契約（最低価格）		12,000	2	90.5	--
3F B-10室 100V コンセント2回路増設工事 随意契約（少額）		88	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
尾崎理化株式会社		7,358	2021001016122		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
部分加水分解サポニン、定量用 50mg 一般競争契約（最低価格）		4,026	3	91.5	--
SCREW CAP 9MM W/BONDED~ 5点 外 4点 随意契約（少額）		356	1	--	--
メタノール d4 99.8% 25ML 6点 外1点 随意契約（少額）		342	1	--	--
メタノール d4 99.8% 25ML 5点 外4点ほか その他(--)		2,633	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社安評センター		6,908	4080401022805		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	指定添加物（香料）～（フルフリルフォルメートに関する～遺伝子突然変異試験） 一般競争契約（最低価格）	6,908	1	99.8	--
支出先名		支出額	法人番号		
日本空調サービス株式会社		6,000	6180001002699		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
高度管理区域空調設備保守点検等業務 一式 一般競争契約（最低価格）		6,000	2	98.3	--
支出先名		支出額	法人番号		
INSTEM PLC		5,166	9999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
安全性試験支援プログラム運用ライセンス利用 一式 1ヶ年 一般競争契約（最低価格）		5,166	2	96	--
支出先名		支出額	法人番号		
WDB株式会社ほか		87,079	--		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
試験研究行等のための人材派遣業務ほか その他(--)		87,079	--	--	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B	株式会社エスアイ総合研究所	3,531	1	食品添加物等に関する試験検査等	
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社エスアイ総合研究所		3,531	1010001133490		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
食品添加物の使用基準における食品分類の明確化に関する事業 一般競争契約（最低価格）		3,531	1	100	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	C	株式会社ホンヤク社	241	1	食品添加物等に関する試験検査等		
		支出先名	支出額	法人番号			
		株式会社ホンヤク社	241	3010401084786			
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
	食品添加物分析法の英訳事業 随意契約（少額）	241	1	--	--		
費目・使途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途		金額	
	A	株式会社バイオテック・ラボ	超高速液体クロマトグラフィー四重極型タンデム質量分析計一式	役務費	食品添加物等に関する試験検査等	19,000	
	B	株式会社エスアイ総合研究所	食品添加物の使用基準における食品分類の明確化に関する事業	役務費	食品添加物等に関する試験検査等	3,531	
	C	株式会社ホンヤク社	食品添加物分析法の英訳事業	役務費	食品添加物等に関する試験検査等	241	
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号				
	--	--	--				

その他備考

--

## 食品用器具・容器包装の安全性確認の計画的推進事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	002361	事業開始年度	2020	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--	主要経費	科学技術振興費   その他の事項経費			
概要・目的	事業の目的	食品用器具・容器包装等については、令和2年度から施行されたポジティブリスト制度（規格が定まっていない原材料を使用した器具・容器包装の販売等の禁止等を行い、安全が担保されたもののみを使用できることとする制度）を円滑に運用するとともに、安全性を確保する。				
	現状・課題	食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号。以下「法」という。）により、食品用器具・容器包装について新たな制度（ポジティブリスト制度）が導入され、食品用器具・容器包装の原材料の合成樹脂を対象に、2020年6月1日に施行された。本制度の導入に当たっては附帯決議（食品衛生法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議（平成30年4月12日参議院厚生労働委員会））において「ポジティブリスト制度の導入に当たっては、食品健康影響評価を踏まえた規格基準を計画的に策定する等、法の円滑な施行に万全を期すこと」とされており、食品健康影響評価を依頼するために必要な知見を収集するとともに、新たな制度を円滑に運用するための取組が必要である。				
	事業の概要	①既存物質（ポジティブリスト施行前から使用されている物質）について、最新の科学的知見を踏まえて調査を行う。 ②ポジティブリストに新規の物質を規定するに当たり、最新の科学的知見を踏まえて調査を行う。 ③器具・容器包装に関する分析法の開発等を行う。				
	事業概要URL	<a href="https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/appliance">https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/appliance</a>				

根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第十八条	1	--
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第十八条	3	--
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第六十八条	1	--
	食品安全基本法	平成十五年法律第四十八号	第二十四条	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL			
	--	--			
実施方法	直接実施				
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL	
	--	--	--	--	
備考	--				

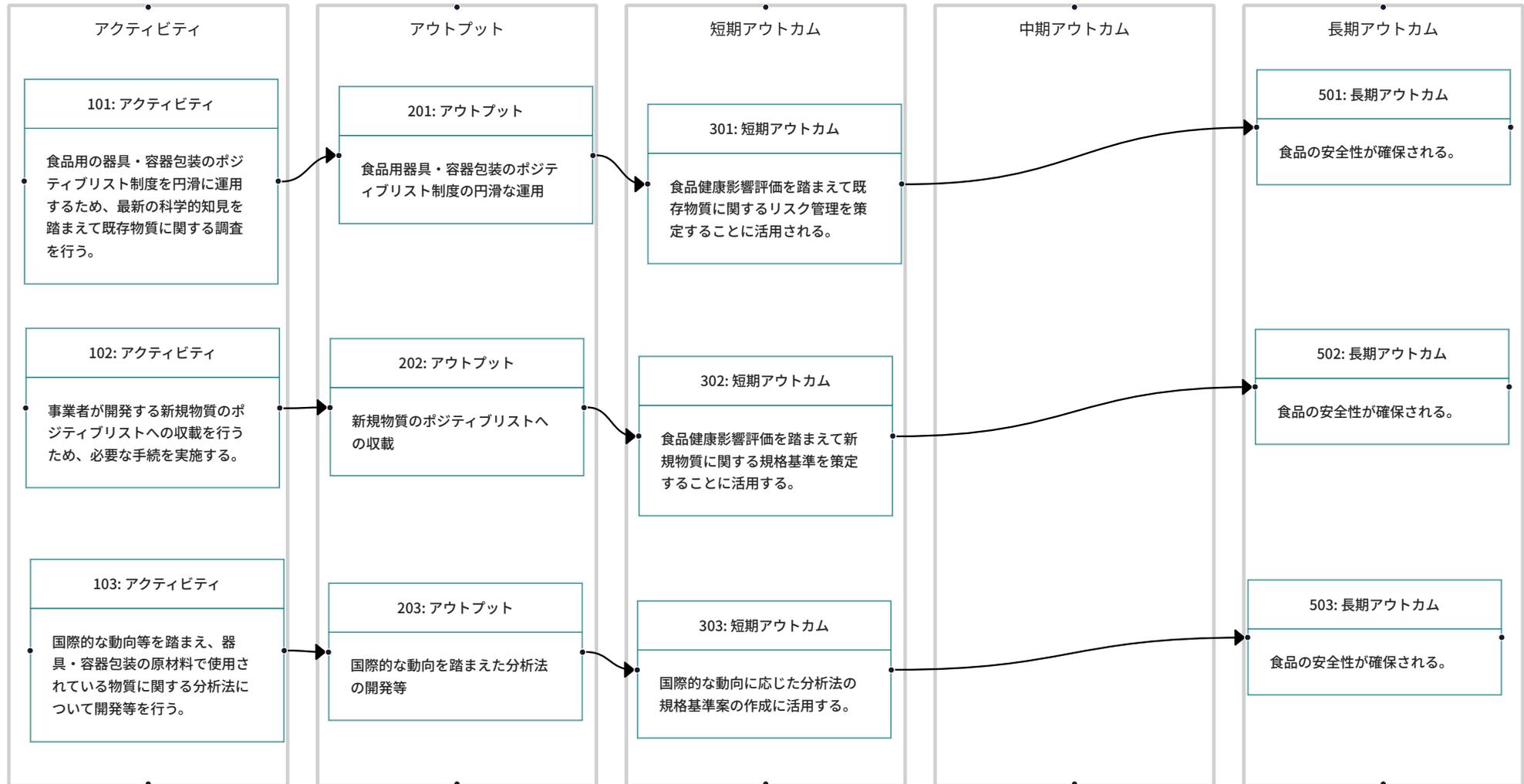
予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	731,000	579,000	587,000	585,265	579,048
	当初予算	594,700	579,000	579,043	579,048	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	594,700	579,000	579,043	579,048	--
	執行額	511,000	493,426	474,763	--	--
	執行率	85.9%	85.2%	82%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品衛生基準調査研究費			--	575,670	575,670
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 職員旅費			--	1,977	1,933
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 委員等旅費			--	576	554
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 諸謝金			--	439	504
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 庁費			--	386	387	
主な増減理由	--			その他特記事項	--		

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	食品用の器具・容器包装のポジティブリスト制度を円滑に運用するため、最新の科学的知見を踏まえて既存物質に関する調査を行う。				
アウトプット	活動目標	食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度の円滑な運用	活動指標	既存物質の安全性に関する調査数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	400	300	250	250
	活動実績／成果実績(件)	733	154	456	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	既存物質に関する知見を調査し、計画的に食品健康影響評価を依頼する。 食品健康影響評価の結果を踏まえたリスク管理の実施に向け、必要な規格基準を策定する等、ポジティブリスト制度の円滑な運用を行う。				
短期アウトカム	成果目標	食品健康影響評価を踏まえて既存物質に関するリスク管理を策定することに活用される。	成果指標	食品健康影響評価を踏まえて既存物質に関するリスク管理を策定する。	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	2023年4月13日の厚生労働省薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会器具・容器包装部会にて、既存物質に関する知見の収集に当たっては、物質ごとの知見を踏まえリスク評価の必要性の優先度を分類し、優先度に応じた食品健康影響評価依頼を行うこととされた。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	物質ごとに食品健康影響評価依頼の優先度を検討中であり、現時点で定量的な成果目標として設定することは不可能である。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	ポジティブリスト制度の円滑な運用により、食品健康影響評価の結果を踏まえたリスク管理が適切に行われることで、我が国の食の安全・安心をより一層の向上させることができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	食品用器具・容器包装のポジティブリストを策定した。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

アクティビティからの発現経路 102-202-302-502

アクティビティ	事業者が開発する新規物質のポジティブリストへの収載を行うため、必要な手続を実施する。			
アウトプット	活動目標	新規物質のポジティブリストへの収載	活動指標	新規物質の基準設定の公示（通知又は告示）件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	2024年度までは事業者からの要請はなかったため、新規物質の収載は行っていない。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績				2025年度
	当初見込み／目標値(件)			7
	活動実績／成果実績(件)			--
↓ 後続アウトカムへのつながり	事業者からの申請に基づいて、新規物質について食品健康影響評価を依頼する。 食品健康影響評価を踏まえたリスク管理の実施に向け、必要な規格基準を策定する等、ポジティブリスト制度の円滑な運用を行う。			
短期アウトカム	成果目標	食品健康影響評価を踏まえて新規物質に関する規格基準を策定することに活用する。	成果指標	食品健康影響評価を踏まえて新規物質に関する規格基準を策定する。
	定性的なアウトカムに関する成果実績	2024年度までは事業者からの要請はなかったため、新規物質の収載は行っていない。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	ポジティブリストへの新規物質の収載は事業者からの要請により行う制度となっていることから、定量的な成果目標として設定することは不可能である。 2022年度から2024年度までは事業者からの要請はなかった。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	ポジティブリスト制度の円滑な運用により、食品健康影響評価の結果を踏まえたリスク管理が適切に行われることで、我が国の食の安全・安心をより一層の向上させることができる。			
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。	成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止
	定性的なアウトカムに関する成果実績	2024年度までは事業者からの要請はなかったため、新規物質の収載は行っていない。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--

アクティビティからの発現経路 103-203-303-503

アクティビティ	国際的な動向等を踏まえ、器具・容器包装の原材料で使用されている物質に関する分析法について開発等を行う。				
アウトプット	活動目標	国際的な動向を踏まえた分析法の開発等		活動指標	分析法の開発等の数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	2	2	2	2
	活動実績／成果実績(件)	2	2	2	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国際的な動向を踏まえて開発した分析法を食品衛生基準行政に活用できる。				
短期アウトカム	成果目標	国際的な動向に応じた分析法の規格基準案の作成に活用する。		成果指標	国際的な動向に応じた分析法の規格基準化検討
	定性的なアウトカムに関する成果実績	食品衛生基準審議会器具・容器包装部会において、開発した試験法を規格基準に導入するための議論を行った。		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	国際的な動向等に応じた対応が必要であることから、定量的な成果目標として設定することは不可能である。		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	国際的な動向を踏まえて開発した分析法を食品衛生基準行政に活用することで、食を取り巻く環境変化に迅速に対応し、我が国の食の安全・安心をより一層の向上させることができる。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性が確保される。		成果指標	国民の食品に関する健康被害の防止
	定性的なアウトカムに関する成果実績	厚生労働省薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会器具・容器包装部会及び消費者庁食品衛生基準審議会器具・容器包装部会において、開発した試験法を規格基準に導入するための議論を行った。		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性の確保」は食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価になじまないため。		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--			
	URL	--			
	該当箇所	--			

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業の調査結果は、既にポジティブリストに記載されている物質の規格改正や、新たに追加する物質の規格について整理を行うために重要なデータであり、食品衛生基準審議会の審議において使用されるものでもあるため、適正な内容となるよう努めている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目標を達成できており、このまま継続して事業を実施する。既にポジティブリストに記載されている物質の規格改正や、新たに追加する物質の規格について整理していく必要があるため、引き続き一定の安全性調査を実施し、精度の高い結果を得られるように検証する。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2021
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	業務の必要性に鑑み事業の継続は認められるが、予算の多くが国立医薬品食品衛生研究所への支出委任となっていることから、委任の際は、業務内容に応じて引き続き所要額を精査し、適切な予算執行に努めること。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	引き続き業務内容に応じて、国立医薬品食品衛生研究所への委任額を精査し、適切な予算執行に努めることとする。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



間接経費: 1,557 千円

1. 職員旅費: 1,516 千円

2. 委員等旅費: 32 千円

3. 事務費: 9 千円

A. 国立医薬品食品衛生研究所

473,205 千円

支出先の数: 121

器具・容器包装等に関する試験検査等

支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 国立医薬品食品衛生研究所	473,205	121	器具・容器包装等に関する試験検査等	
	支出先名	支出額	法人番号		
	バイオテック・ラボ株式会社	45,931	9011101060675		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	ベンチトップ顕微鏡 一式 一般競争契約（最低価格）	15,994	3	97.6	--
	超高速液体クロマトグラフー四重極型タンデム質量分析計 一式 一般競争契約（最低価格）	3,814	3	96.7	--
	滑走式マイクロトーム 一式 随意契約（少額）	1,308	1	--	--
	アズワン 3-7417-13 ESCO バイオクリーンベンチ～ 1点ほか その他(--)	24,815	--	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
株式会社池田理化	37,166	3010001010696			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
中圧・高圧分取クロマトグラフィシステム 一式 一般競争契約（最低価格）	9,601	2	99.7	--	
マルチモードプレートリーダー 一式 一般競争契約（最低価格）	3,872	3	92.8	--	
超高純度水素ガス発生装置 2台 一般競争契約（最低価格）	2,000	2	95.7	--	
キセノン光源 UV-IRセット 一式 ほか その他(--)	21,692	--	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
島津サイエンス株式会社	28,308	7010501032617			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	リサイクル分取機能付きー質量トリガー分取高速液体クロマトグラフ 一式 一般競争契約（最低価格）	20,000	3	88.7	--
	高速液体クロマトグラフ 一式 一般競争契約（最低価格）	6,000	3	79.1	--
	原子吸光AA-7000 試料溶液吸引エラー修理 1式 随意契約（少額）	471	1	--	--
	DGU-20A5R エラーランプ点灯 修理 1式ほか その他(--)	1,837	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
新東産業株式会社		22,089	1010401013301		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
総合庁舎管理業務 一式 一般競争契約（最低価格）		22,000	2	90.5	--
4F 有機化学部居室100Vコンセント3ヶ所増設工事 随意契約（少額）		89	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
丸紅新電力株式会社		21,368	9010001137740		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
電気使用料 一般競争契約（最低価格）		21,368	1	76.1	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社ボゾリサーチセンター		21,334	7011001043906		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
ラウリン酸アミドに関するラットを用いた反復経口投与試験 一式 一般競争契約（最低価格）		15,125	1	72	--
ビス（4-tert-ブチル安息香酸）～反復経口投与毒性試験の用量設定試験 一般競争契約（最低価格）		3,179	2	52.1	--

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	キシレン及びホルムアルデヒド～に関するラットを用いた反復経口投与試験 一式 一般競争契約（最低価格）	2,893	3	38.1	--
	保存資料の返却・廃棄費用 1式ほか 一般競争契約（最低価格）	137	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
三協ラボサービス株式会社		12,000	9011701003356		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
実験動物飼育管理業務 一式 1ヶ年 一般競争契約（最低価格）		12,000	2	91.8	--
支出先名		支出額	法人番号		
日本空調サービス株式会社		10,495	6180001002699		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
高度管理区域空調設備保守点検等業務 一式 一般競争契約（最低価格）		10,000	2	98.3	--
2階 E-7室系統エアコン室外機熱交換器交換作業 一式 随意契約（少額）		495	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
日精バイリス株式会社		10,450	3120001086767		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
エチレングリコール・3-ヒドロキシ～ラットを用いた反復経口投与試験 一式 一般競争契約（最低価格）		10,450	3	55.4	--
支出先名		支出額	法人番号		
みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社ほか		264,065	--		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
食品用器具・容器包装に係る会議運営等業務 一式ほか その他(--)		264,065	--	--	--

費目・用途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途	金額
A	バイオテック・ラボ株式会社	ベンチトップ顕微鏡 一式	役務費	器具・容器包装等に関する試験検査等	15,944	
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号			
	--	--	--			

その他備考

--

## 健康食品の安全性の確保等事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	002363	事業開始年度	2007	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--		主要経費	その他の事項経費		
概要・目的	事業の目的	市場に流通している多様ないわゆる「健康食品」について、健康被害を未然に防止するため、安全性が疑われる成分又は物質に関する分析調査等を実施し、指定成分の指定や規格基準の策定を通し流通を禁止する等、迅速・適切な対応を可能とし、食品の安全性を確保する。				
	現状・課題	現状：健康食品のうち、市場流通する錠剤やカプセル剤等については、安全性確保のための製造管理及び品質管理に関する指針を作成し、事業者等による自主的な取組を推奨している。また、健康食品に関する健康被害報告等は厚生労働省等から共有される。 課題：健康被害発生の拡大防止を図るためには、健康被害報告等だけでは、施策の根拠として必ずしも十分ではない。このため、安全性が疑われる成分又は物質について分析調査等を実施することが必要である。				
	事業の概要	いわゆる「健康食品」による健康被害について関係省庁と連携し、市場に流通しているいわゆる「健康食品」において安全性が疑われる成分又は物質について、分析調査を実施し、必要に応じて安全性調査を行う。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号		第八条	--	--
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号		第十三条	--	--

関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	「いわゆる「健康食品」・無承認無許可医薬品健康被害防止対応要領について」（課長通知）		<a href="https://www.mhlw.go.jp/content/001368533.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/001368533.pdf</a>	
	「錠剤、カプセル剤等食品の原材料の安全性に関する自主点検及び製品設計に関する指針（ガイドライン）」及び「錠剤、カプセル剤等食品の製造管理及び品質管理（GMP）に関する指針（ガイドライン）」について」（課長通知）		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/health_food/assets/cms_standards107_241227_02.pdf">https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/health_food/assets/cms_standards107_241227_02.pdf</a>	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

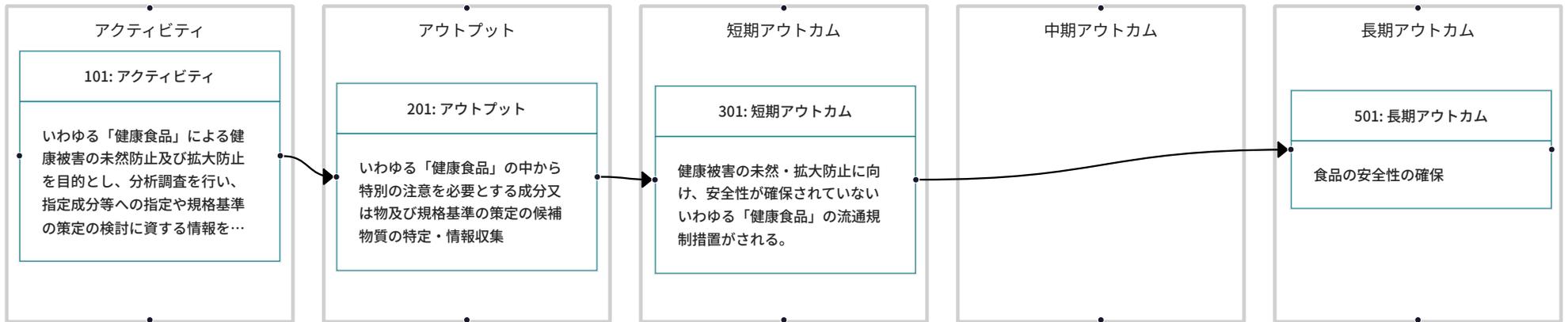
予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	80,000	75,400	136,000	361,213	137,780
	当初予算	75,000	120,000	120,098	126,780	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	0	--	--	--
	計	75,000	120,000	120,098	126,780	--
	執行額	109,000	117,140	118,886	--	--
	執行率	145.3%	97.6%	99%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	一般会計	一般会計	--	11,000	--		
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品等試験検査費			--	120,895	130,508
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 委員等旅費			--	2,712	2,768
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 職員旅費			--	2,566	2,953
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 諸謝金			--	554	1,505
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 庁費			--	53	46	

主な増減理由	従来にはない新開発食品の最新の科学的知見や諸外国の規制状況の収集、安全性確保に係る体制整備のため。	その他特記事項	--
--------	---	---------	----

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	いわゆる「健康食品」による健康被害の未然防止及び拡大防止を目的とし、分析調査を行い、指定成分等への指定や規格基準の策定の検討に資する情報を収集する。さらに、国内外の健康被害や諸外国の規制、注意喚起の情報を収集し、必要に応じて消費者とリスクコミュニケーションを行う。				
アウトプット	活動目標	いわゆる「健康食品」の中から特別の注意を必要とする成分又は物及び規格基準の策定の候補物質の特定・情報収集	活動指標	健康被害と疑われる事例又は海外規制当局にて危険性が示唆されている、いわゆる「健康食品」に対する分析調査	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	健康被害の未然・拡大防止を目標に、健康被害の発生のおそれのある、いわゆる「健康食品」に対する分析調査を実施した。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	2	2	2	1
	活動実績／成果実績(件)	2	2	3	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	いわゆる「健康食品」に関して、指定成分の指定及び規格基準の策定に資する科学的知見を集積することにより、適切な流通措置を講ずることができる。				
短期アウトカム	成果目標	健康被害の未然・拡大防止に向け、安全性が確保されていないいわゆる「健康食品」の流通規制措置がされる。	成果指標	指定成分の指定・規格基準の策定等の流通規制措置の状況	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	現状、四つの成分について、指定成分への指定を行い、それらについて製造に係る規格基準を策定。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	流通規制措置は健康被害情報の報告状況や製品・成分の安全性の程度等により検討するため、多寡による評価がなじまなく、定量的に測ることは困難。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
↓ 後続アウトカムへのつながり	いわゆる「健康食品」の流通規制等の健康被害の未然・拡大防止措置を図ることで、安全性が確保されていないいわゆる「健康食品」が流通しない社会となり、食品の安全性が確保される。				
長期アウトカム	成果目標	食品の安全性の確保	成果指標	安全性が確保されていない、いわゆる「健康食品」による健康被害の未然防止	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	健康被害が報告されたいわゆる「健康食品」に関して含有成分の同定のための分析調査を行い、関係部局と協力して流通禁止とした結果、その後は当該製品による健康被害の報告を受けていない。	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	成果目標である「食品の安全性が確保」は、食品に関する健康被害の防止等、数値によって測ることができず、定量的な評価にはなじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	

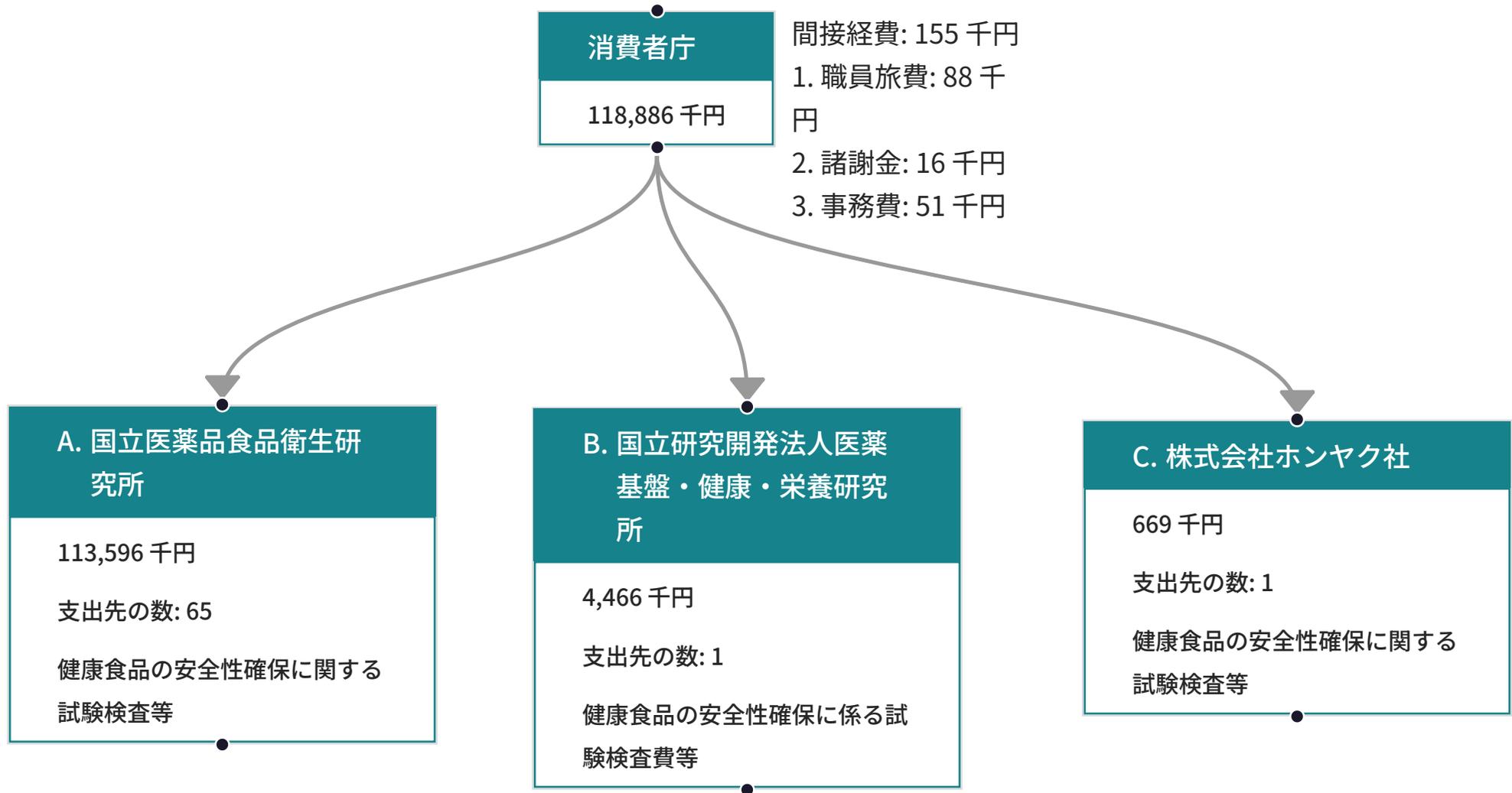
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名前	--
	URL	--
	該当箇所	--

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>本事業は、市場に流通しているいわゆる「健康食品」のうち、安全性が疑われる成分又は物質について、分析調査等を行っている。諸外国の規制・注意喚起等の調査や、含有量確認のための測定方法を開発することにより、健康被害等が発生した際の早急な対応が可能となる。また、令和6年度には、調査結果を踏まえ、錠剤やカプセル剤等の製造管理及び品質管理に関する指針に新たな枠組みを導入したことで、実効性のある安全な商品供給につながっている。さらに、専門家や関係省庁と連携を取りながら健康被害の未然・防止拡大に向けた健康食品の安全性確保に努めている。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	<p>適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。また、市場に流通しているいわゆる「健康食品」の安全性確保のため、分析調査等対象の選定に当たっては、関係省庁及び専門家の意見も踏まえて緊急性の高いものを選定するとともに、分析調査等の実施に当たっては、一般競争による調達によりコスト削減を図り、効率的に行えるように努める。</p>		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2017
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	引き続き、必要性・効率性・有効性を検討し、適切な予算執行を図っていただきたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	引き続き必要性・効率性・有効性を検討し、適切な予算執行に努めることとする。			
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

支出先

資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 国立医薬品食品衛生研究所	113,596	65	健康食品の安全性確保に関する試験検査等	
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社バイオテック・ラボ	30,791	5010601020795		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	リアルタイムPCR装置 一式 一般競争契約（最低価格）	6,797	3	95.8	--
	生体分子精製用クロマトグラフィーシステム 一式 一般競争契約（最低価格）	6,540	2	94.4	--
	DNAマイクロアレイ解析装置 保守 一式 1ヶ年 一般競争契約（最低価格）	5,823	3	100	--
	液体クロマトグラフ 一式ほか その他(--) 支出先名	11,631	--	--	--
	支出額	24,875	法人番号		
	島津サイエンス株式会社	24,875	7010501032617		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	ガスクロマトグラフ質量分析計 一式 一般競争契約（最低価格）	16,614	3	86	--
	高速液体クロマトグラフ 一式 一般競争契約（最低価格）	8,261	3	95.1	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	丸紅新電力株式会社	10,513	9010001137740		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	電気使用料 一般競争契約（最低価格）	10,513	1	76.1	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	個人A	4,523	9999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	給与・賞与 その他(事業に係る職員給与・賞与)	4,523	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
個人B		4,074	999999999999		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
給与・賞与 その他(事業に係る職員給与・賞与)		4,074	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
個人C		4,011	999999999999		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
給与・賞与 その他(事業に係る職員給与・賞与)		4,011	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社三菱ケミカルリサーチ		3,746	5010001022137		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
合成生物学を利用した食品等に関する諸外国の法規制制度の調査 随意契約(少額)		968	1	--	--
諸外国における遺伝子組換え食品等～審査法令とリスク～最新情報の確認業務 随意契約(少額)		968	1	--	--
国内外における細胞培養食品の開発動向に関する調査 随意契約(少額)		952	1	--	--
合成生物学を利用した食品に関連した諸外国の研究開発状況の調査ほか 随意契約(少額)		858	1	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
Elsevier B.V.		3,022	8700150067835		
契約概要(契約名)/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	令和6年度外国雑誌（電子ジャーナル）サイエンス・ダイレクターの購読 一式 随意契約（その他）（--）	3,022	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため
支出先名		支出額	法人番号		
個人D		2,993	99999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
給与 その他(事業に係る職員給与)		2,993	--	--	--
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社帝国理化ほか		25,049	--		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
質量分析器及び窒素発生装置の点検作業 一式 ほか その他(--)		25,049	--	--	--
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
B	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	4,466	1	健康食品の安全性確保に係る試験検査費等	
支出先名		支出額	法人番号		
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所		4,466	9120905002657		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
健康食品の安全性に係る情報の収集・発信事業 随意契約（その他）(特命随契)		4,466	1	--	予定価格が類推されるおそれがあるため
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
C	株式会社ホンヤク社	669	1	健康食品の安全性確保に関する試験検査等	
支出先名		支出額	法人番号		
株式会社ホンヤク社		669	3010401084786		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
			細胞培養食品の海外ガイダンスの和訳業務 随意契約（少額）	669	1	--
費目・用途 (単位：千円)	支出先名		契約概要（契約名）	費目	用途	金額
	A	株式会社バイオテック・ラボ	リアルタイムPCR装置 一式	役務費	健康食品の安全性確保に関する試験検査等	6,797
	B	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	健康食品の安全性に係る情報の 収集・発信事業	役務費	健康食品の安全性確保に関する試験検査等	4,466
	C	株式会社ホンヤク社	細胞培養食品の海外ガイダンス の和訳業務	役務費	健康食品の安全性確保に関する試験検査等	669
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号		
		--	--	--		

その他備考

--

## 食品衛生基準科学研究費補助金（食品衛生基準行政推進調査事業費補助金を含む）

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	006465	事業開始年度	1951	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--	主要経費	科学技術振興費			
概要・目的	事業の目的	食品衛生基準科学研究の振興を促し、もって、食品の安全に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。				
	現状・課題	大学や国立・民間の試験研究機関に所属する研究者を交付対象とする補助金であり、国民の健康を守るために一層資する研究がなされるよう、政策等への活用の観点も踏まえた研究成果の的確な評価委員会における評価及び評価結果を踏まえた研究の推進を図る必要がある。				
	事業の概要	①食品衛生基準科学研究費補助金：国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。これにより、食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施に資するもの。（定額補助） ②食品衛生基準行政推進調査事業費補助金：国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。食品衛生基準科学研究のうち、行政的緊急性が高いものや専門的・学術的観点等から研究を実施するものを指定する研究について、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。これにより、食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施に資するもの。（定額補助）				
	事業概要URL	<a href="https://www.caa.go.jp/policies/science/research_grant/index.html">https://www.caa.go.jp/policies/science/research_grant/index.html</a>				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第二条	1	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	・「第6期科学技術・イノベーション基本計画」（令和3年3月26日閣議決定）	<a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf">https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf</a>				
	・「国の研究開発評価に関する大綱的指針」（平成28年12月21日内閣総理大臣決定）	<a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyu/taikou201612.pdf">https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyu/taikou201612.pdf</a>				

実施方法	補助			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	定額	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026	
	要求額		--	307,000	307,433	348,715	
	当初予算		0	256,195	255,575	--	
	補正予算		--	--	--	--	
	前年度から繰越し		--	--	--	--	
	予備費等		--	--	--	--	
	計		0	256,195	255,575	--	
	執行額		--	255,027	--	--	
	執行率		--	99.5%	--	--	

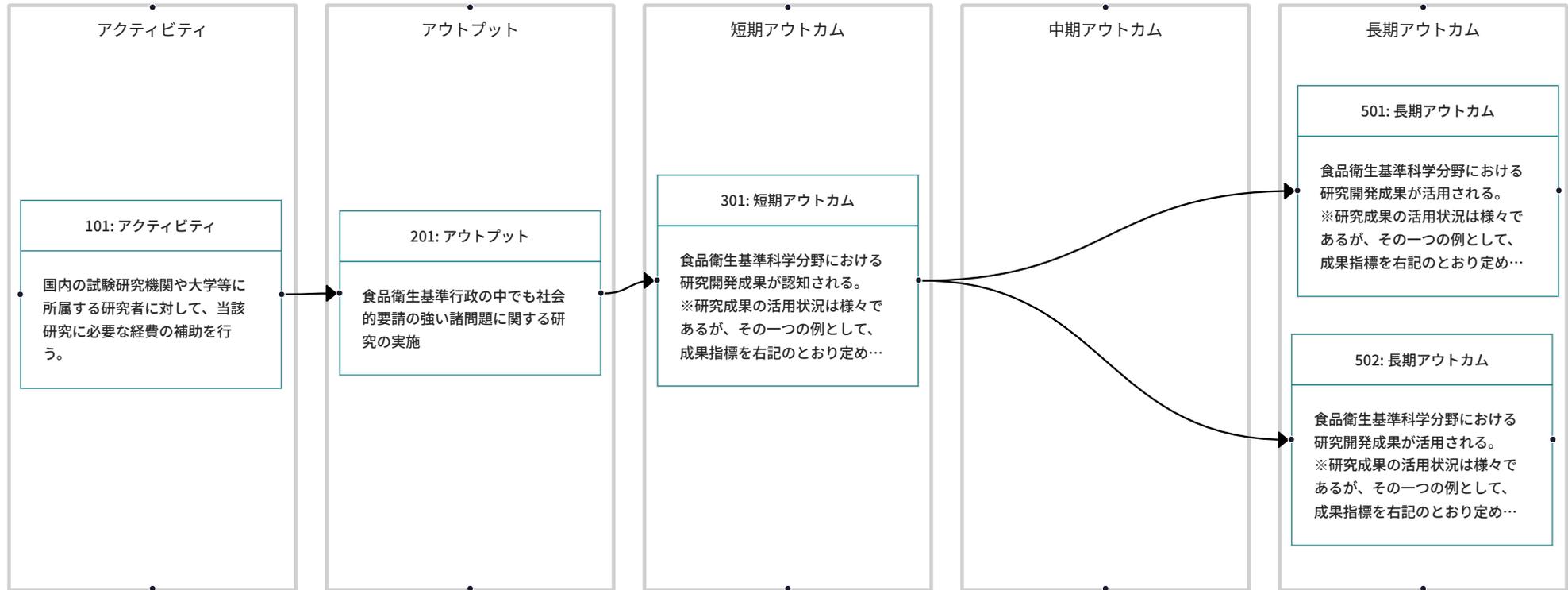
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	93,140	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品衛生基準科学研究費補助金		--	197,865	291,005
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品衛生基準行政推進調査事業費補助金		--	57,710	57,710

主な増減理由	その他特記事項
科学的知見に基づいた行政施策の推進を確保するとともに、食品安全に関する技術水準の向上を図ることを目的とした研究の強化のため。	生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、食品衛生基準審査課は2024年4月1日から、厚生労働省から消費者庁に移管された。本事業は厚生労働省の事業の一部を消費者庁に移したものであり、2023年度以前の予算額、執行額及び実績値等は厚生労働省のレビューシートに記載されている。

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行う。			
アウトプット	活動目標	食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施	活動指標	採択件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース ※現状は厚生労働科学研究データベースのみであり、今後データベース掲載に係る変更が生じる可能性があるが詳細は未定
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		6	6
	活動実績／成果実績(件)		6	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開できているかを図る指標としてアクセス件数を設定している。			
短期アウトカム	成果目標	食品衛生基準科学分野における研究開発成果が認知される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	成果指標	食品衛生基準科学研究データベース（閲覧システム）へのアクセス件数（前年度以上） ※目標値は前年度の厚生労働科学研究データベースのアクセス件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)		5,605,470	5,108,216
	活動実績／成果実績(件)		5,108,216	--
	達成率(%)		91	--

↓ 後続アウトカム ↓へのつながり	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開を行う中で、さらに社会への還元の指標として学術的価値のある1課題当たり原著論文件数を指標として設定している。			
長期アウトカム	成果目標	食品衛生基準科学分野における研究開発成果が活用される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	成果指標	年度終了課題の研究開発成果のうち論文数 ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数をあらかじめ見込むことは困難。
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標 と実績			最終目標年度 2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	68		--
	活動実績／成果実績(件)	68		--
	達成率(%)	100		--

アクティビティからの発現経路 101-201-301-502

アクティビティ	国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行う。			
アウトプット	活動目標	食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施	活動指標	採択件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース ※現状は厚生労働科学研究データベースのみであり、今後データベース掲載に係る変更が生じる可能性があるが詳細は未定
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		6	6
	活動実績／成果実績(件)		6	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開できているかを図る指標としてアクセス件数を設定している。			
短期アウトカム	成果目標	食品衛生基準科学分野における研究開発成果が認知される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	成果指標	食品衛生基準科学研究データベース（閲覧システム）へのアクセス件数（前年度以上） ※目標値は前年度の厚生労働科学研究データベースのアクセス件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)		5,605,470	5,108,216
	活動実績／成果実績(件)		5,108,216	--
	達成率(%)		91	--

<p>↓ 後続アウトカムへのつながり</p>	<p>科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。</p> <p>そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開を行う中で、さらに社会への還元の指標として学術的価値のある1課題当たり学会発表数（国内・国際学会）を指標として設定している。</p>			
<p>長期アウトカム</p>	<p>成果目標</p>	<p>食品衛生基準科学分野における研究開発成果が活用される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。</p>	<p>成果指標</p>	<p>年度終了課題の研究開発成果のうち、学会等での議論を深める一助となったもの （1課題当たり学会発表件数（国内・国際学会合計）） ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数をあらかじめ見込むことは困難。</p>
	<p>定性的なアウトカムに関する成果実績</p>	<p>--</p>	<p>実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）</p>	<p>食品衛生基準科学研究データベース</p>
	<p>定性的なアウトカム目標を設定している理由</p>	<p>--</p>	<p>アウトカムを複数段階で設定できない理由</p>	<p>--</p>
<p>活動・成果目標と実績</p>			<p>最終目標年度 2024年度</p>	<p>2025年度</p>
	<p>当初見込み／目標値(件)</p>		<p>7</p>	<p>--</p>
	<p>活動実績／成果実績(件)</p>		<p>7</p>	<p>--</p>
	<p>達成率(%)</p>		<p>100</p>	<p>--</p>
<p>事業に関連するKPIが定められている閣議決定等</p>	<p>名前</p>	<p>--</p>		
	<p>URL</p>	<p>--</p>		
	<p>該当箇所</p>	<p>--</p>		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業の研究結果については、食品衛生基準科学研究の振興を促すために重要な研究であり、国民の健康を守るための適正な研究内容となるよう努めている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、適切に予算を執行し事業を実施する。また、食品の安全を確保し、国民の健康を守るために一層資する研究の推進を図る。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	補助金の支出に当たっては、評価委員会等の評価も活用しつつ、必要性・効率性・有効性を検討し、引き続き適切な予算執行を図りたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	引き続き必要性・効率性・有効性を検討し、適切な予算執行に努めることとする。			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

消費者庁

255,027 千円



A. 研究者Aほか

255,027 千円

支出先の数: 34

補助金の交付を受け、研究を実施する。

支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 研究者Aほか	255,027	34	補助金の交付を受け、研究を実施する。	
	支出先名	支出額	法人番号		
	研究者A	26,700	999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	香料を含む食品添加物の遺伝毒性評価スキームの構築に関する基盤研究 補助金等交付	26,700	0	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	研究者B	20,800	999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	新たなバイオテクノロジーを用いて得られた食品の安全性確保とリスクコミュニケーション推進のための研究 補助金等交付	20,800	0	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	研究者C	18,000	999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	「健康食品」の安全性・有効性情報サイトを活用した健康食品の安全性確保に関する研究 補助金等交付	18,000	0	--	--
	支出先名	支出額	法人番号		
研究者D	14,000	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品及び食品用容器包装に使用されるナノマテリアル等の新規素材の安全性評価に関する研究 補助金等交付	14,000	0	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
研究者 E	13,840	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品行政における国際整合性の確保と食品分野の国際動向に関する研究 補助金等交付	7,240	0	--	--	
残留農薬規制における国際整合を推進するための研究 補助金等交付	6,600	0	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
研究者 F	12,300	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食事摂取状況等を考慮したいわゆる「健康食品」の安全性確保に資する研究 補助金等交付	12,300	0	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
研究者 G	11,000	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
フードテックを応用した細胞培養食品の先駆的な調査検討による食品衛生上のハザードやリスクに係る研究-リスクプロファイルの作成とモデル細胞実験系による検証・還元- 補助金等交付	11,000	0	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
研究者 H	10,800	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品用器具・容器包装等の衛生的な製造管理等の推進に資する研究 補助金等交付	10,800	0	--	--	
支出先名	支出額	法人番号			
研究者 I	10,600	999999999999			

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	「昆虫食」における大規模生産等産業化に伴う安全性確保のための研究 補助金等交付		10,600	0	--	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	研究者 J		10,327	99999999999999			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	食品由来の各種化学物質のばく露評価を目的とした食事調査法に関する研究 補助金等交付		10,327	0	--	--	
	支出先名		支出額	法人番号			
	その他		106,660	--			
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
その他 補助金等交付		106,660	--	--	--		
費目・使途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額		
A	研究者 A	香料を含む食品添加物の遺伝毒性評価スキームの構築に関する基盤研究	補助金等	研究の実施	26,700		
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号				
	--	--	--				

その他備考

--

## 研究評価推進事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	006458	事業開始年度	2024	事業終了（予定）年度	終了予定なし
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--		主要経費	その他の事項経費		
概要・目的	事業の目的	食品衛生基準科学研究の振興を促し、もって、食品の安全に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。				
	現状・課題	食品衛生基準科学研究開発（試験、調査等を含む。）に関する研究開発プログラム、研究開発課題、研究開発機関及び研究者の業績の評価について、個人情報保護の観点に配慮しつつ、外部評価の実施、国際的な視点からの評価の実施、評価結果の公開、研究費等の研究開発資源の配分への適切な反映等を行うことにより、より一層適切かつ効果的な研究開発評価の実施を図ることが必要である。そのため、評価委員会を設置し、研究開発課題の採択に関する事前評価、研究の進捗を評価する中間評価、研究が適切に行われたか等を評価する事後評価を実施する等、食品衛生基準科学研究費補助金等の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるための事業を実施しており、引き続き研究開発課題の評価を行う必要がある。				
	事業の概要	評価委員会を設置し、研究開発課題の採択に関する事前評価、研究の進捗を評価する中間評価、研究が適切に行われたか等を評価する事後評価を実施する等、食品衛生基準科学研究費補助金等の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるための事業を実施する。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	--	--		--	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	・「第6期科学技術・イノベーション基本計画」（令和3年3月26日閣議決定）	<a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf">https://www8.cao.go.jp/cstp/kihonkeikaku/6honbun.pdf</a>				
	・「国の研究開発評価に関する大綱的指針」（平成28年12月21日内閣総理大臣決定）	<a href="https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyu/taikou201612.pdf">https://www8.cao.go.jp/cstp/kenkyu/taikou201612.pdf</a>				
実施方法	直接実施					

補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	6,000	770	770
	当初予算		0	5,628	770	--
	補正予算		--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--
	予備費等		--	--	--	--
	計		0	5,628	770	--
	執行額		--	3,488	--	--
	執行率		--	62%	--	--

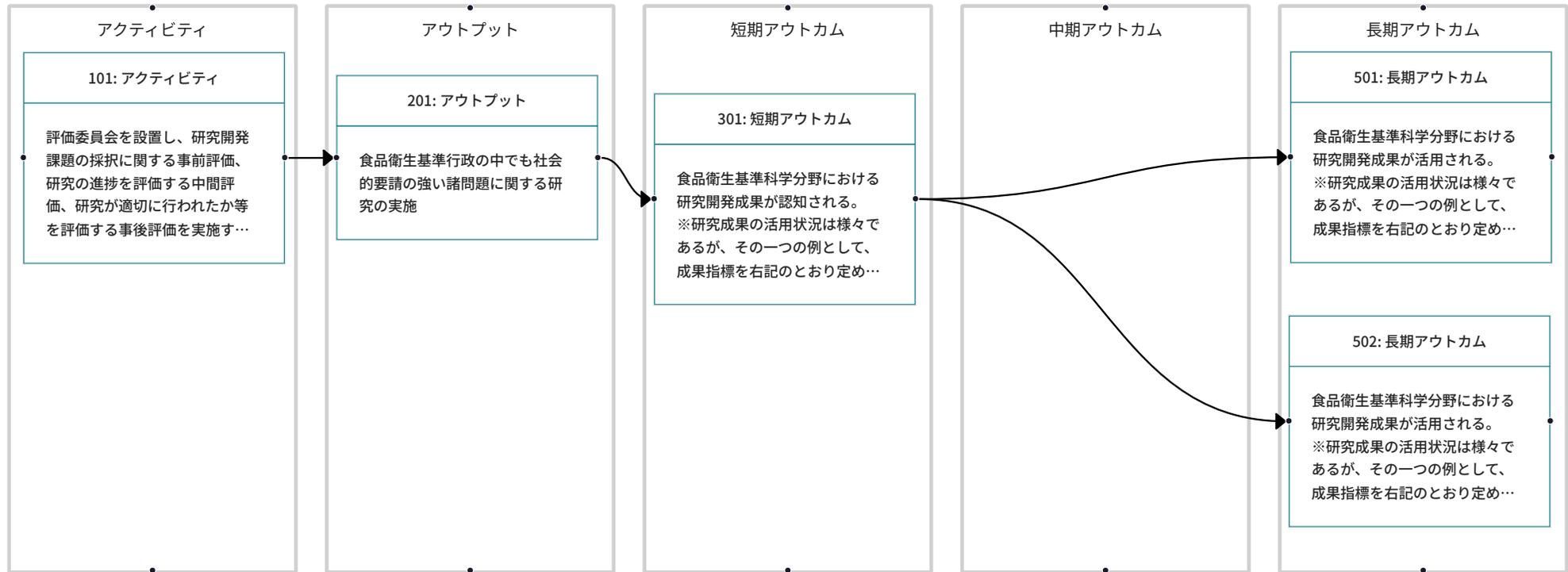
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算	食品衛生基準政策費 委員等旅費	--	502	462
		当初予算	食品衛生基準政策費 諸謝金	--	268	308

主な増減理由	業務の合理化による予算額の減	その他特記事項	--
--------	----------------	---------	----

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	評価委員会を設置し、研究開発課題の採択に関する事前評価、研究の進捗を評価する中間評価、研究が適切に行われたか等を評価する事後評価を実施する。			
アウトプット	活動目標	食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施	活動指標	採択件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース ※現状は厚生労働科学研究データベースのみであり、今後データベース掲載に係る変更が生じる可能性があるが詳細は未定。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		6	6
	活動実績／成果実績(件)		6	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開できているかを図る指標としてアクセス件数を設定している。			
短期アウトカム	成果目標	食品衛生基準科学分野における研究開発成果が認知される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	成果指標	食品衛生基準科学研究データベース※（閲覧システム）へのアクセス件数（前年度以上） ※目標値は前年度の厚生労働科学研究データベースのアクセス件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)		5,605,470	5,108,216
	活動実績／成果実績(件)		5,108,216	--
	達成率(%)		91.1	--

↓ 後続アウトカム ↓へのつながり	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開を行う中で、さらに社会への還元の指標として学術的価値のある1課題当たり原著論文件数を指標として設定している。			
長期アウトカム	成果目標	食品衛生基準科学分野における研究開発成果が活用される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	成果指標	年度終了課題の研究開発成果のうち論文数 ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数をあらかじめ見込むことは困難。
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績			最終目標年度 2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(件)	68		--
	活動実績／成果実績(件)	68		--
	達成率(%)	100		--

アクティビティからの発現経路 101-201-301-502

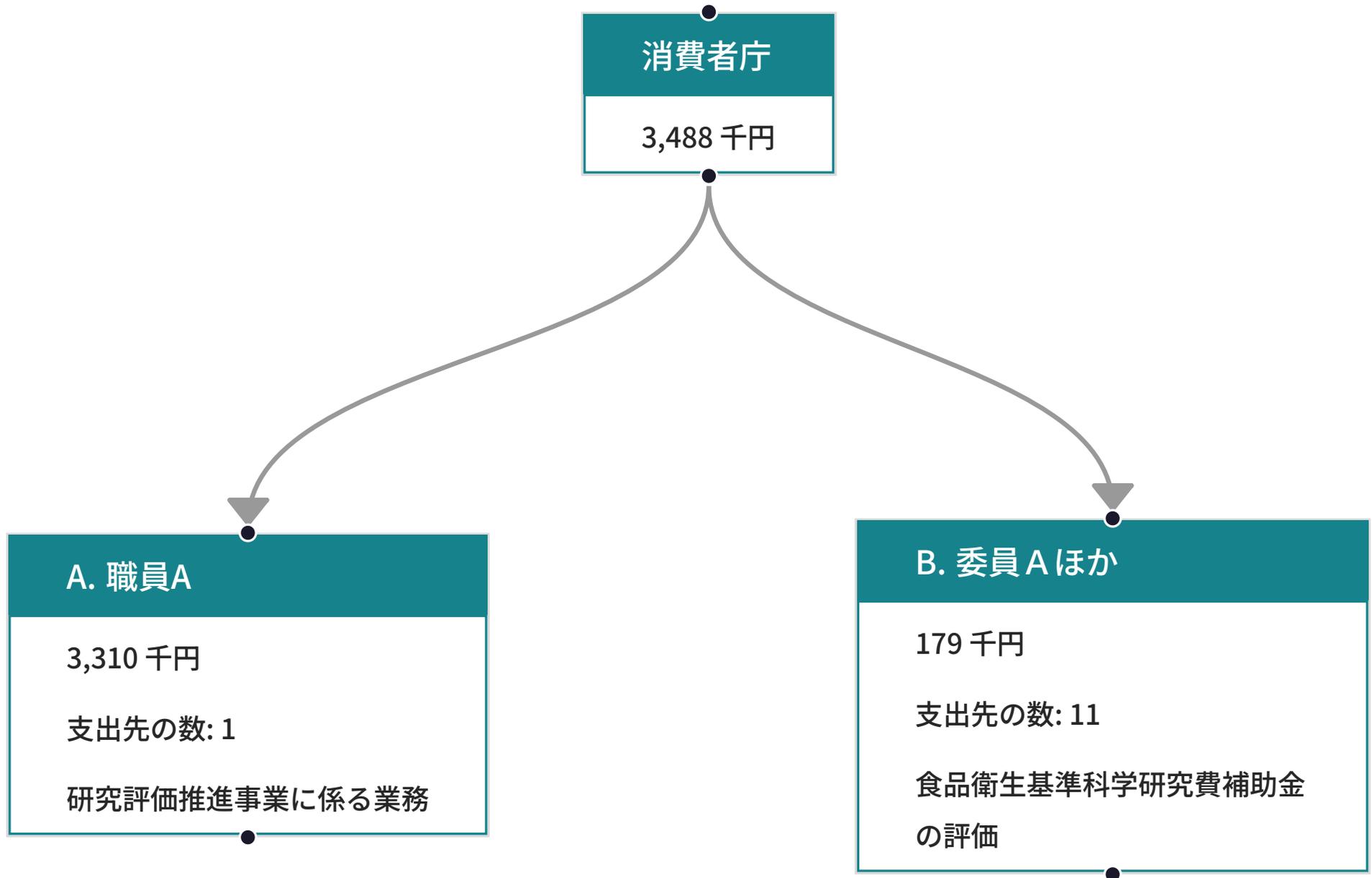
アクティビティ	評価委員会を設置し、研究開発課題の採択に関する事前評価、研究の進捗を評価する中間評価、研究が適切に行われたか等を評価する事後評価を実施する。			
アウトプット	活動目標	食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施	活動指標	採択件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース ※現状は厚生労働科学研究データベースのみであり、今後データベース掲載に係る変更が生じる可能性があるが詳細は未定。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(件)		6	6
	活動実績／成果実績(件)		6	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開できているかを図る指標としてアクセス件数を設定している。			
短期アウトカム	成果目標	食品衛生基準科学分野における研究開発成果が認知される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	成果指標	食品衛生基準科学研究データベース※（閲覧システム）へのアクセス件数（前年度以上） ※目標値は前年度の厚生労働科学研究データベースのアクセス件数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	食品衛生基準科学研究データベース
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		目標年度 2025年度
	当初見込み／目標値(件)		5,605,470	5,108,216
	活動実績／成果実績(件)		5,108,216	--
	達成率(%)		91.1	--

<p>↓ 後続アウトカムへのつながり</p>	<p>科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。</p> <p>そのためにも研究開発成果をより多く国民・社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開を行う中で、さらに社会への還元の指標として学術的価値のある1課題当たり学会発表数（国内・国際学会）を指標として設定している。</p>			
<p>長期アウトカム</p>	<p>成果目標</p>	<p>食品衛生基準科学分野における研究開発成果が活用される。 ※研究成果の活用状況は様々であるが、その一つの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。</p>	<p>成果指標</p>	<p>年度終了課題の研究開発成果のうち、学会等での議論を深める一助となったもの （1課題当たり学会発表件数（国内・国際学会合計）） ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数をあらかじめ見込むことは困難。</p>
	<p>定性的なアウトカムに関する成果実績</p>	<p>--</p>	<p>実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）</p>	<p>食品衛生基準科学研究データベース</p>
	<p>定性的なアウトカム目標を設定している理由</p>	<p>--</p>	<p>アウトカムを複数段階で設定できない理由</p>	<p>--</p>
<p>活動・成果目標と実績</p>			<p>最終目標年度 2024年度</p>	<p>2025年度</p>
	<p>当初見込み／目標値(件)</p>		<p>7</p>	<p>--</p>
	<p>活動実績／成果実績(件)</p>		<p>7</p>	<p>--</p>
	<p>達成率(%)</p>		<p>100</p>	<p>--</p>
<p>事業に関連するKPIが定められている閣議決定等</p>	<p>名前</p>	<p>--</p>		
	<p>URL</p>	<p>--</p>		
	<p>該当箇所</p>	<p>--</p>		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業は食品衛生基準科学研究の振興を促すために重要なものであり、食品衛生基準科学研究費補助金等の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるよう努めている。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	引き続き、適切に予算を執行し事業を実施する。また、各事業ごとの研究開発課題の評価を実施し、食品衛生基準科学研究費補助金等の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるよう事業の推進を図る。		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	前年度に新規に開始した事業		
	所見	<p>①本事業は、研究に対する評価そのものではなく、評価手続の運営に関するものと思われるが、資料を見ていくと、その境界線が曖昧になっており、研究に対する評価の良し悪しを、本事業のアウトカムとなってしまっている部分がある。厚生労働省から引き継いだ事業とのことで、従前の事業内容を踏襲したものかとも思われるが、一貫性のある整理が必要と思う。</p> <p>②本事業は研究開発の実施事業ではなく、研究評価の実施事業であるため、アウトプットとして、事前評価／中間評価／事後評価の適切性（評価に関わる十分な期間の確保状況等）や、評価の客観性（外部評価者の割合）、評価の透明性（評価結果概要の公表有無等）等に関わる指標設定が想定されるのではないか。なお、仮に研究開発課題の実施に関わる事業（研究開発課題の研究費）であれば、現状のアウトプット、アウトカムが想定されるが、そうであったとしても食品安全科学研究データベースのアクセス件数については、食品安全科学研究のみのアクセス件数に限定することや、論文数ではなく論文の引用数等を設定することも考えられるのではないか。</p> <p>③研究に対する評価事業の成果なのだから、それが政策に与える効果を問題にするのか、研究上の何らかのフィードバック効果を期待するののかも変わってくる。研究それ自体の事業との差をどう見るか。実際に上がってきた論文、報告書に対する閲覧数を見ないと、当該年度の個別の事業の評価にはならないのではないか。</p>		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	<p>業務の合理化により2024年から2025年の予算額を減少させている点は評価できる点である。</p> <p>事業の内容や研究の評価の方法等を整理していくことも検討されたい。</p> <p>引き続き、事業に必要な予算額を確保し、効果的かつ効率的な事業の実施に資するよう、適正な執行に努めていただきたい。</p>

所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
詳細	<p>①評価手続の運営に関する事業として明確にわかるよう、指標設定については、適切な指標となるように、今後見直していくものとする。</p> <p>②現在のデータベースでは食品安全科学研究のみのアクセス件数に絞ることや論文の引用数等を確認するのが困難であることを踏まえて、御指摘いただいた指標を参考に、今後、適切な指標となるよう見直していくものとする。</p> <p>③現在のデータベースでは論文や報告書に対する閲覧数の確認ができないことを踏まえて、指標設定について適切な指標となるよう今後見直していくものとする。</p>			
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 職員A		3,310	1	研究評価推進事業に係る業務	
	支出先名		支出額	法人番号		
	職員A		3,310	999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	研究評価推進事業に係る職員給与 その他(職員給与)		3,310	0	0	--
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B 委員Aほか		179	11	食品衛生基準科学研究費補助金の評価	
	支出先名		支出額	法人番号		
	委員A		25	999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		25	0	0	--
	支出先名		支出額	法人番号		
	委員B		20	999999999999		
	契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		20	0	0	--	
支出先名		支出額	法人番号			
委員C		20	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		20	0	0	--	
支出先名		支出額	法人番号			

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
麴町税務署		18	999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		18	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
委員D		14	999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		14	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
委員E		14	999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		14	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
委員F		14	999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		14	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
委員G		14	999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)		14	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	委員H	13	999999999999		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)	13	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	委員I	13	999999999999		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)	13	0	0	--
	支出先名	支出額	法人番号		
	その他	13	--		
	契約概要(契約名)/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
	評価委員会出席謝金 その他(出席謝金)	13	0	0	--
	費目・使途 (単位:千円)	支出先名	契約概要(契約名)	費目	使途
A 職員A		研究評価推進事業に係る職員給与	人件費	研究評価推進事業に係る職員給与	3,310
B 委員A		評価委員会出席謝金	諸謝金	評価委員会出席謝金	25
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位:千円)	契約先名	契約額	法人番号		
	--	--	--		

その他備考

--

## 行政文書電子媒体変換事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	消費者庁				
	事業所管課室	消費者庁   食品衛生基準審査課				
	作成責任者	高江慎一				
	その他担当組織	--				
基本情報	予算事業ID	006455	事業開始年度	2024	事業終了（予定）年度	2024
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		<a href="https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/">https://www.caa.go.jp/policies/evaluation/</a>	
関連事業	--		主要経費	その他の事項経費		
概要・目的	事業の目的	食品衛生基準行政の業務を進めるに当たって、業務の効率化・高度化やリモートワークのための環境整備を図るため、これまで単に保存されていた紙媒体資料等を整理するとともに、それらをまとめ、検索可能な電子化作業を行うものである。				
	現状・課題	食品衛生基準行政の業務を進めるに当たっては、紙媒体を含む過去の様々なデータを参照し行っているところ、業務の効率化・高度化やリモートワークのための環境整備を図るため、これまで単に保存されていた紙媒体資料等を整理するとともに、それらをまとめ、検索可能な電子化作業を行う必要がある。				
	事業の概要	庁舎内及び外部倉庫に保管されている食品基準審査課の行政文書等をスキャンし画像データを作成する。更に画像データを検索する上で必要な情報を作成する。				
	事業概要URL	--				
根拠法令	法令名	法令番号		条	項	号・号の細分
	--	--		--	--	--
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	--	--				
実施方法	直接実施					
補助率等	補助対象	補助率		補助上限等	補助率URL	
	--	--		--	--	
備考	--					

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2023	2024	2025	2026
	要求額		--	19,000	0	--
	当初予算		0	9,288	0	--
	補正予算		--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--
	予備費等		--	--	--	--
	計		0	9,288	0	--
	執行額		--	4,070	--	--
	執行率		--	43.8%	--	--

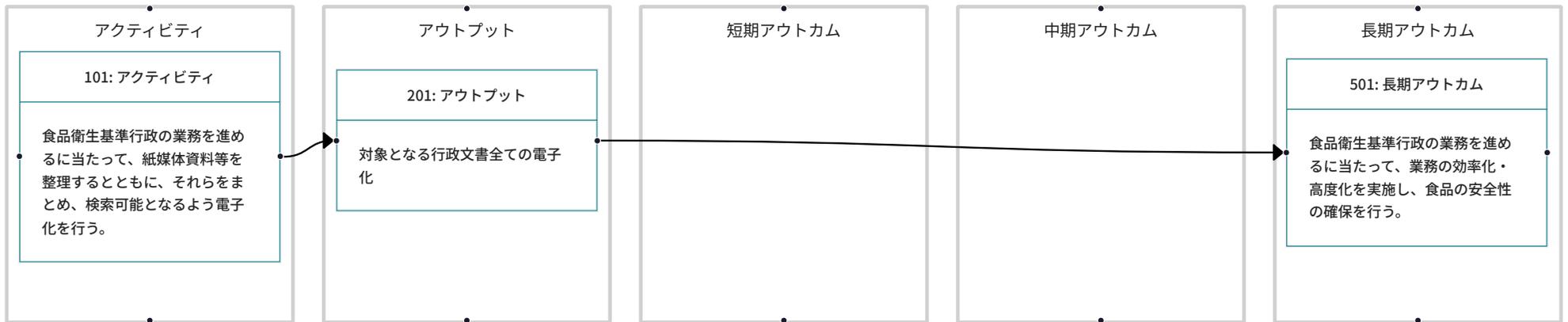
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--	--	
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当初予算</div> 食品衛生基準政策費 食品等試験検査費		--	0	--

主な増減理由	2024年度で終了した事業のため。	その他特記事項	2024年度終了事業

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



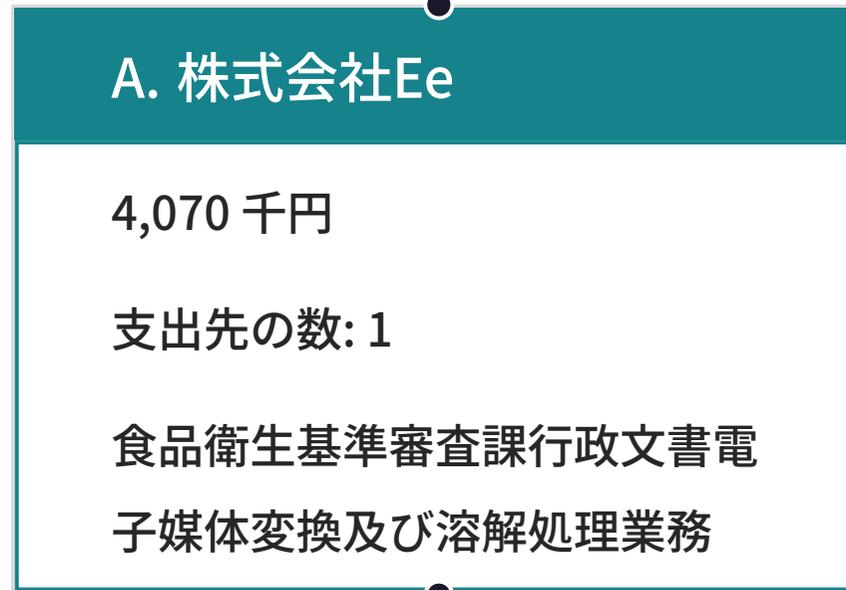
アクティビティからの発現経路 101-201-501

アクティビティ	食品衛生基準行政の業務を進めるに当たって、紙媒体資料等を整理するとともに、それらをまとめ、検索可能となるよう電子化を行う。			
アウトプット	活動目標	対象となる行政文書全ての電子化	活動指標	電子化実施済みの文書量 ※整理が必要な文書収納箱数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度		2025年度
	当初見込み／目標値(箱)		450	0
	活動実績／成果実績(箱)		138	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	紙媒体資料等を整理するとともに、それらをまとめ、検索可能となるよう電子化を行うことで、食品衛生基準行政の業務を進める上での業務の効率化・高度化を実施し、食品の安全性のさらなる確保を可能とする。			
長期アウトカム	成果目標	食品衛生基準行政の業務を進めるに当たって、業務の効率化・高度化を実施し、食品の安全性の確保を行う。	成果指標	食品衛生基準行政の業務を進めるに当たり、業務の効率化・高度化を図る。
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	アクティビティである紙媒体資料等の電子化が、より効果的な施策の推進や制度の見直しにどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	事業の実施が効果に直結し、途中段階でデータ等を確認しながら事業の改善や執行の工夫を行う余地が乏しいため。
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--		
	URL	--		
	該当箇所	--		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	保存されていた紙媒体資料等の電子化によって食品衛生行政の業務の効率化が図られた。		
	目標年度における効果測定に関する評価	厚生労働省から消費者庁への業務の移管時点で文書の整理を行い、電子化する文書を精査した結果、該当文書数が減ったことで執行率が減少しているが、基本的に電子化が必要な文書については全て電子化したことで、食品衛生基準行政の業務の効率化・高度化が図られ、リモートワークのための環境が整備されたと考えている。		
	改善の方向性	--		
外部有識者による点検	点検対象	書面点検	最終実施年度	2025
	対象の理由	前年度に新規に開始した事業		
	所見	<p>①業務スペースの確保、業務の効率化等の目的で、紙資料のデジタルデータ化は時代の流れと認識するが、その実施に当たっては、紙資料のどの部分をデータ化するかという精査が欠かせない。本来は、消費者庁全体として、紙資料からデジタルデータ化への検討が前提となる場面のように思われる。本事業に関しては、そのような検討過程が全く見えてこない。「対象となる行政文書全ての電子化」という表現(「効果発現経路」と、「当初見込み/目標値」)の450箱、「活動実績/成果実績」の138箱が、それぞれ何を意味するのかも明確でない。厚生労働省からの引継ぎ事業とはいえ、異様に低い落札率も含めて、消費者庁として、明解な説明が求められるところと思う。</p> <p>②「予算・執行」欄について、要求額と執行額の乖離が大きい。定型的な委託業務であり、予算要求の段階でより実態に即した金額を設定できるのではないか。また、執行率が43.8%と低く、予定価格の設定についても適宜見直しが必要ではないか。「アクティビティからの発現経路101-201-501」について、活動実績（138箱）が当初見込み（450箱）を下回っている。単年度事業でもあり、当初予定していた事務が適切に執行されたのか「目標年度における効果測定に関する評価」欄等で具体的に記載する必要があるのではないかと。長期アウトカムとして「食品衛生基準行政の業務を進める上での業務の効率化・高度化を実施し、食品の安全性のさらなる確保を可能とする」が設定されている。短期又は中期アウトカムとして、外部要因が大きく参考指標に留まるが「リモートワークの増加率」や「残業時間の減少率」等、「食品衛生基準行政の業務を進める上での業務の効率化・高度化」の状況を示す指標も必要ではないか。</p> <p>③短期的成果と長期的なそれとの間の過程が「政策評価」の対象としては十分に整備されたものになっていない。「検索可能な」という点がポイントなのであれば（業務遂行の効率性を狙いとしているのであれば、ポイントであるだろう。）、その観点からの効率性指標のようなものがあったらいいと思う（ただ具体的に実装可能なものを明確化するの難しい。）。デジタルイノベーションが国の政策として重要視されているのだから、ここでもその知見をいかしてほしい。</p>		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	終了予定	詳細	<p>紙媒体資料を整理し電子化を行った結果、食品衛生基準行政の業務の効率化・高度化やリモートワークのための環境が整備されたことは評価できる点である。</p> <p>しかし、活動実績（138箱）が当初見込み（450箱）を大きく下回っていることや執行率の低さは改善すべき点である。</p> <p>今後、同様の事業を行うことがあるならば、事前検討をしっかりとより良い結果が出せるように努めていただきたい。</p>

所見を踏まえた 改善点／概算要 求における反映 状況	改善点・反映状況	予定通り終了		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
		--	--	--
詳細	<p>①今後、類似の事業を実施する際は、御指摘いただいたことを踏まえ、分かりやすい活動目標や指標となるよう表現を工夫するとともに、見込みの精査等の事前検討を十分に行い、適切な予算執行に努める。</p> <p>②御指摘いただいたことを踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目標年度における効果測定に関する評価」欄で具体的に記載を行った。</li> <li>・「リモートワークの増加率」等の「食品衛生基準行政の業務を進める上での業務の効率化・高度化」の指標を示すことについては、その時々外部要因等業務の状況を踏まえれば、必ずしも効果を反映するものではないと考えるが、今後、類似の事業を実施する場合には、指標設定を工夫するとともに、予定価格の設定や必要予算額の精査等、事前検討を十分に行い、適切な予算要求・執行に努める。</li> </ul> <p>③効率性指標を示すことについては、前述の回答のとおり、今後、類似の事業を実施する場合には適切な指標設定ができるよう検討していく。</p>			
公開プロセス・ 秋の年次公開検 証（秋のレビュ ー）における取 りまとめ	--			
その他の指摘事 項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
	A	株式会社ee	4,070	1	食品衛生基準審査課行政文書電子媒体変換及び溶解処理業務		
		支出先名	支出額	法人番号			
		株式会社 e e	4,070	5120001146263			
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	食品衛生基準審査課行政文書電子媒体変換及び溶解処理業務一式 一般競争契約（最低価格）	4,070	6	40.5	--		
費目・用途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途		金額	
A	株式会社 e e	食品衛生基準審査課行政文書電子媒体変換及び溶解処理業務一式	委託費	食品衛生基準審査課行政文書電子媒体変換及び溶解処理業務		4,070	
国庫債務負担行為等による契約先リスト (単位：千円)	契約先名		契約額	法人番号			
	--		--	--			

その他備考

--

## 食品汚染物質の安全性検証推進事業

## 基本情報

組織情報	府省庁	復興庁				
	事業所管課室	復興庁   予算会計企画班				
	作成責任者	木村公一 高江慎一				
	その他担当組織	消費者庁   食品衛生基準審査課				
基本情報	予算事業ID	000557	事業開始年度	2013	事業終了（予定）年度	2030
	事業年度	2025	事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策	施策		政策体系・評価書URL	
	消費者庁	1. 食品衛生基準政策の推進	(1) 食品衛生基準に関する政策の推進		--	
関連事業	--	主要経費	その他の事項経費			
概要・目的	事業の目的	食品中の放射性物質の基準値（平成24年4月施行）について、食品中の放射性物質の含有状況や摂取状況を調査し継続的に検証を行うことにより、食品の安全性を確保する。				
	現状・課題	平成23年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故により、近接する地域で生産された食品から放射性物質が検出されたため、食品中の放射性物質の基準値が設定された（平成24年4月施行）。国民が食品中の放射性物質によって被ばくする線量の実態を知るためには、トータルダイエツト調査のような実態に即した試料の測定に基づく推定が必要であるため、食品中の放射性物質の規制の妥当性を検証し、原発事故に起因する放射性物質による、国民の食品に対する不安を解消し、被災地域産品の信頼性の回復及び風評被害を防止するために本事業を開始した。 食品からの放射性物質の暴露量の推定を踏まえ、食品の安全性について検証をするため、定量的な指標を設定することが困難であることが課題である。				
	事業の概要	食品中の放射性物質の含有状況調査及び年齢、地域、季節ごとの実際の食品からの放射性物質の摂取量調査を行う。				
	事業概要URL	<a href="https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/food_pollution/criterion">https://www.caa.go.jp/policies/policy/standards_evaluation/food_pollution/criterion</a>				
根拠法令	法令名	法令番号	条	項	号・号の細分	
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第十三条	1	--	
	食品衛生法	昭和二十二年法律第二百三十三号	第十三条	2	--	
関係する計画・通知等	計画・通知名	計画・通知等URL				
	食安発0315第1号食品安全部長通知「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」等	--				

実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

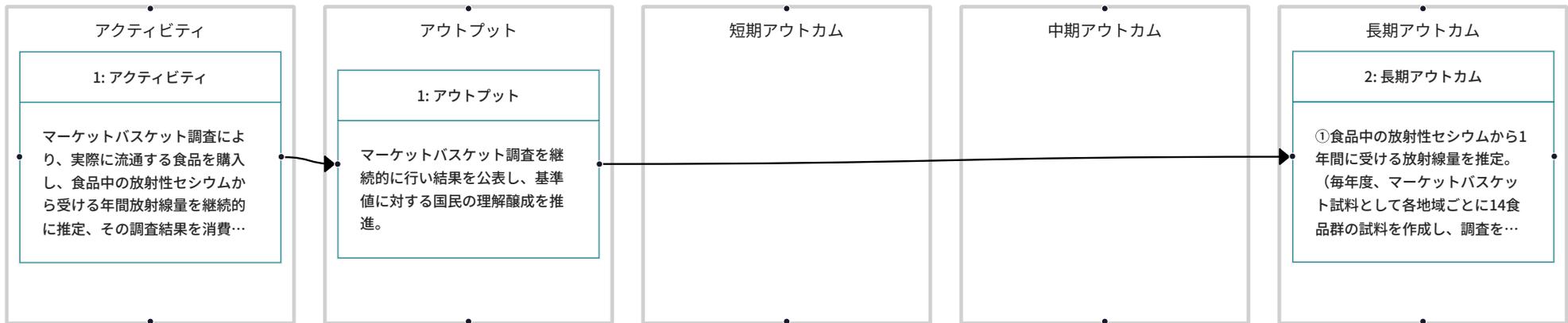
予算額執行額表 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025	2026
	要求額	76,000	76,000	76,000	67,745	67,442
	当初予算	76,000	76,000	76,143	67,710	--
	補正予算	--	--	--	--	--
	前年度から繰越し	--	--	--	--	--
	予備費等	--	--	--	--	--
	計	76,000	76,000	76,143	67,710	--
	執行額	74,056	62,313	74,873	--	--
	執行率	97.4%	82%	98.3%	--	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考		
	特別会計	東日本大震災復興	--		--	--	
		予算種別/歳出予算項目			備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 --				--	--
		当初予算 消費生活復興政策費 その他			--	--	--
		当初予算 消費生活復興政策費 職員旅費			--	595	683
		当初予算 消費生活復興政策費 食品等試験検査費			--	66,815	66,741
		当初予算 消費生活復興政策費 諸謝金			--	24	0
		当初予算 消費生活復興政策費 庁費			--	37	18
		当初予算 消費生活復興政策費 委員等旅費			--	239	0
会計区分	会計	勘定	要望額	備考			
特別会計	東日本大震災復興	--		--	--		

主な増減理由	--	その他特記事項	--
--------	----	---------	----

# 効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 1-1-2

アクティビティ	マーケットバスケット調査により、実際に流通する食品を購入し、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量を継続的に推定、その調査結果を消費者庁のHPに掲載する。国民に向けた食品の安全性に関する正確な情報を発信。				
アウトプット	活動目標	マーケットバスケット調査を継続的に行い結果を公表し、基準値に対する国民の理解醸成を推進。	活動指標	マーケットバスケット試料中の放射性セシウム濃度の測定	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	--	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--	アウトカムを複数段階で設定できない理由	本事業の目的（①基準値設定による安全な食品流通を通じ、国民に安心して食品を摂取してもらうこと②諸外国等に対して国産食品の安全性を説明する根拠とするため、経時的に科学的データを取集すること等）に照らせば、継続的に検証を行うことが国内および海外における国内食品への信頼を確保する上で、極めて重要であり、短期的なアウトカム設定は本事業の性質に相応しくないと考えるため。	
活動・成果目標と実績		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
	当初見込み／目標値(試料数)	420	420	420	364
	活動実績／成果実績(試料数)	420	420	420	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	マーケットバスケット調査では、実際に流通する食品を購入し各地域の試料の比較も行うため、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量の推定に加え、福島県及び周辺県とその他の地域を比較することで、同等性と安全性が示され食品の安全確保に寄与する。また、国民へ正確な情報を発信することにより、食品中の放射性物質の基準値に対する国民の理解醸成を推進することができる。				

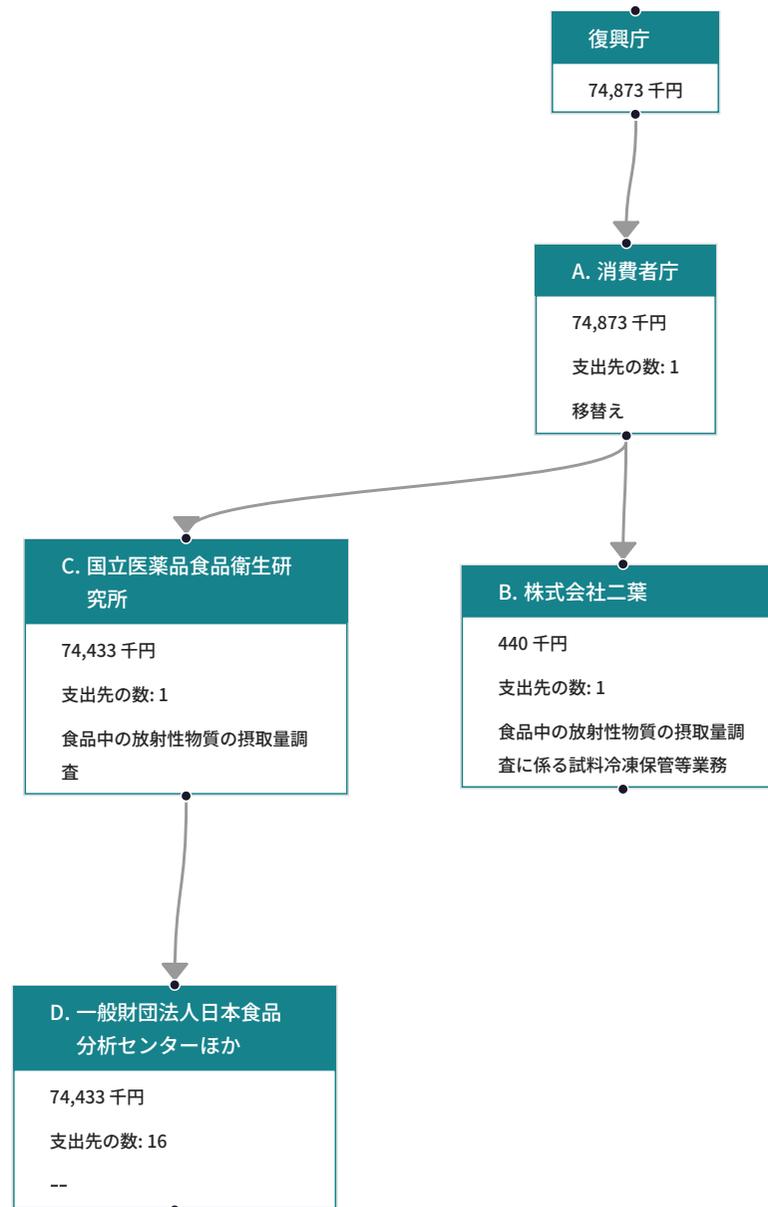
長期アウトカム	成果目標	<p>①食品中の放射性セシウムから1年間に受ける放射線量を推定。(毎年度、マーケットバスケット試料として各地域ごとに14食品群の試料を作成し、調査を実施。調査の結果、食品中の放射性セシウムから1年間に受ける放射線量が極めて小さいことを確認)</p> <p>②国民へ正確な情報を発信。</p> <p>③基準値に対する国民の理解醸成を推進。</p>	成果指標	試料数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--	実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	毎年度、マーケットバスケット試料として各地域ごとに14食品群の試料を作成し、調査を実施。 調査の結果、食品中の放射性セシウムから1年間に受ける放射線量が極めて小さいことを確認。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	食品からの放射性物質の暴露量の推定を踏まえ、食品の安全性の継続的な検証が目的であるため、定量的な指標を設定することは困難である。	アウトカムを複数段階で設定できない理由	本事業の目的（①基準値設定による安全な食品流通を通じ、国民に安心して食品を摂取してもらうこと②諸外国等に対して国産食品の安全性を説明する根拠とするため、経時的に科学的データを取集すること等）に照らせば、継続的に検証を行うことが国内および海外における国内食品への信頼を確保する上で、極めて重要であり、短期的なアウトカム設定は本事業の性質に相応しくないと考えるため。
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--		
	URL	--		
	該当箇所	--		

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	<p>○令和6年度は一日摂取量調査による試料420検体を検査し、各地域の食品に含まれる放射性セシウムから受ける線量が現行の基準値の設定根拠となった線量上限 1mSv/年の0.1%程度であることを確認した。また、食品に含まれる放射性ストロンチウムの濃度は原発事故以前の範囲内、プルトニウムの濃度は検出限界値未満であることを確認した。</p> <p>○調査は福島県及び周辺県とその他の日本の各地域を比較して実施されており、調査結果によってそれらの同等性と安全性が示され食品の安全確保に寄与していることから、被災地の経済活動・市民生活へ直接的な影響を与えたとともに、また、日本全国や海外での食品への信頼を確保する上で極めて有効である。また、本事業によって得られたデータは、基準値の継続的な検証にも活用できるものである。</p>		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目標が達成できており、このまま継続して事業を実施する。また、引き続き、なお一層効率的かつ効果的に事業が実施されるよう、調査方法や頻度等について検証する		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	適切な予算執行に努めるとともに、引き続き、なお一層効率的かつ効果的に事業が実施されるよう、調査方法や頻度等について検証すること。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額(千円)
	詳細	--	--	--
公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

# 支出先

## 資金の流れ



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 消費者庁	74,873	1	移替え	
	支出先名	支出額	法人番号		
	消費者庁	74,873	5000012010024		
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
	移替え その他(--)	74,873	0	0	--
	支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B 株式会社二葉	440	1	食品中の放射性物質の摂取量調査に係る試料冷凍保管等業務	
	支出先名	支出額	法人番号		
	株式会社二葉	440	2010401026062		
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品中の放射性物質の摂取量調査に係る試料冷凍保管等業務 随意契約（その他）(--)	440	0	0	--	
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
C 国立医薬品食品衛生研究所	74,433	1	食品中の放射性物質の摂取量調査		
支出先名	支出額	法人番号			
国立医薬品食品衛生研究所	74,433	999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
食品中の放射性物質の摂取量調査 その他(支出委任)	74,433	0	0	--	
支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
D 一般財団法人日本食品分析センターほか	74,433	16	--		
支出先名	支出額	法人番号			

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
一般財団法人日本食品分析センター	23,133	3011005000295			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
平均的食事からの放射性物質摂取量推定のための試料調整一式 随意契約（その他）（--）	22,209	0	0	--	
マーケットバスケット試料（油脂類）の灰化試料作製 随意契約（少額）	924	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
株式会社CDエナジーダイレクト	9,996	2010001190770			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
ガス使用料 一般競争契約（最低価格）	9,996	3	52.7	--	
支出先名	支出額	法人番号			
株式会社千代田テクノ	8,964	7010001004851			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
低バックグラウンドα/β線自動測定装置 一式 随意契約（その他）（--）	8,580	0	0	--	
中型灰化炉定期点検 一式 随意契約（少額）	384	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
尾崎理化株式会社	8,294	2021001016122			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由	
ハミルトンシリンジ 705N 50uL 6点 外11点 随意契約（少額）	764	0	0	--	
特注ガラスアダプター 透明摺り ネジ付き 1本入 12点 随意契約（少額）	671	0	0	--	
蒸留水-Plus- LC/MS用 1L 24点 外9点 随意契約（少額）	575	0	0	--	

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	DB-5MS 60m 0.32mm 0.25um 3点ほか その他(--)	6,284	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
パーソルテンプスタッフ株式会社		5,392	1011001015010		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
試験研究業務等のための人材派遣業務 一般競争契約（最低価格）		5,392	5	84.8	--
支出先名		支出額	法人番号		
個人A		4,926	9999999999999		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
給与 その他(--)		4,926	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ株式会社		3,500	9010501030346		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
波高分析装置利用のためのデータ処理装置更新作業 一式 随意契約（公募）		2,035	0	0	--
既設放射能測定装置 3式 点検・再校正 一式 随意契約（少額）		996	0	0	--
Ge半導体検出器用重量計の設置 一式 随意契約（少額）		275	0	0	--
無停電電源装置 1点 随意契約（少額）		195	0	0	--
支出先名		支出額	法人番号		
丸紅新電力株式会社		3,000	9010001137740		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策/落札率非公開の理由
電気使用料 一般競争契約（最低価格）		3,000	1	76.1	--

支出先ブロック名	合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
支出先名	支出額	法人番号			
株式会社池田理化	2,408	3010001010696			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
CONSUM GREEN BASKETmQ IQ7005 ～ 1点 外3点 随意契約（少額）	825	0	0	--	
超純水製造装置修理 一式 随意契約（少額）	812	0	0	--	
iCAP7400 Duoプロアクティブサポートプラン 一式 随意契約（少額）	520	0	0	--	
プレフィルター（温風乾燥用）～ 1点 外5点ほか 随意契約（少額）	252	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
個人B	1,575	9999999999999			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
給与 その他(--)	1,575	0	0	--	
支出先名	支出額	法人番号			
その他	3,245	--			
契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
水道使用料ほか その他(--)	3,245	0	0	--	

費目・用途 (単位：千円)	支出先名	契約概要（契約名）	費目	用途	金額
B	株式会社二葉	食品中の放射性物質の摂取量調査に係る試料冷凍保管等業務	役務費	食品中の放射性物質の摂取量調査に係る試料冷凍保管等業務一式	440
D	一般財団法人日本食品分析センター	平均的食事からの放射性物質摂取量推定のための試料調整一式	役務費	平均的食事からの放射性物質摂取量推定のための試料調整一式	22,209

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)	契約先名	契約額	法人番号
	--	--	--

その他備考

--